

法人向け無線 LAN アクセスポイント

WAB-BE シリーズ

Console Manual

コンソールマニュアル

第 2 版 2025/9/17

■ 対象モデル

WAB-BE187-M : Ver.1.1.10 以降

WAB-BE72-M : Ver.1.1.3 以降

WAB-BE36-M : Ver.1.1.3 以降

このマニュアルは、別冊の「クイックセットアップガイド」および「ユーザーズマニュアル」とあわせてお読みください。

導入編	8
用語	9
このマニュアルで使われている用語	9
このマニュアルで使われている記号	9
このマニュアルをお読みになる前に	10
コマンドラインインターフェースをご使用前に	11
ファームウェアを最新の状態にする	11
ターミナルソフトをインストールする	11
本製品と設定用パソコンを接続する	12
コンソールポートを使用してシリアル接続する場合	12
ネットワーク経由でSSH接続する場合	13
コマンドラインインターフェースにログインする	15
シリアル接続の場合	15
SSH接続の場合	17
コマンドリファレンス編	18
コマンドモード	24
編集モード	24
即時モード	28
参照モード	31
コマンドリファレンスの見かた	35
CONFIGコマンド	37
config apname	37
config basic_info show status	38
config buzzer time	39
config date	40
config firmware	41

config init.....	43
config led_setting.....	44
config management.....	45
config ntp client.....	47
config password.....	49
config power_saving.....	50
config power_saving led.....	51
config power_saving schedule add.....	52
config power_saving schedule delete.....	54
config reboot.....	55
config restore.....	56
config save.....	58
config syslog client.....	60
config timezone.....	62
config username.....	65
LANコマンド.....	66
lan ether port {pd pse} 8023az.....	66
lan ether port {pd pse} link.....	67
lan ether port {pd pse} media mdi.....	68
lan ether port {pd pse} vlan mode.....	70
lan ether show status.....	72
lan ip defaultgw.....	73
lan ip dhcp.....	74
lan ip dns.....	75
lan ip show status.....	76
lan ip static.....	77
lan ip vlan.....	78
SHOW STATUS コマンド.....	79

show status config	79
show status lan	81
show status radius	82
show status system_info	83
show status wlan {2.4g 5g 6g mlo}	84
show status wlan emergency_mode	86
show status wlan guest_network	87
show status wlan maclist	88
show status wlan monitor	89
show status wlan wmm	90
show status wlan wps	91
WLANコマンド	92
wlan {2.4g 5g} 80211n_protect	92
wlan {2.4g 5g 6g} aggregation	93
wlan {2.4g 5g 6g} airtimefairness	94
wlan {2.4g 5g 6g} basic_info show status	95
wlan {2.4g 5g 6g} beacon dtim	96
wlan {2.4g 5g 6g} beacon interval	97
wlan {2.4g 5g 6g} channel change_ch_if_STA_connected	98
wlan {2.4g 5g 6g} channel interval	99
wlan {2.4g 5g 6g} {disable enable}	100
wlan {2.4g 5g 6g} fast_roaming	101
wlan {2.4g 5g 6g} fragmentthreshold	102
wlan {2.4g 5g 6g} gi	103
wlan {2.4g 5g 6g} keepalive	104
wlan {2.4g 5g 6g} mrate	105
wlan {2.4g 5g 6g} rtsthreshold	106
wlan {2.4g 5g 6g} ssid addsecurity	107
wlan {2.4g 5g 6g} ssid broadcastssid	109

wlan {2.4g 5g 6g} ssid create	110
wlan {2.4g 5g 6g} ssid loadbalance	111
wlan {2.4g 5g 6g} ssid privacy	113
wlan {2.4g 5g 6g} ssid rename	115
wlan {2.4g 5g 6g} ssid security	116
wlan {2.4g 5g 6g} ssid vlan	118
wlan {2.4g 5g 6g} txpower	119
wlan {2.4g 5g 6g} uapsd	120
wlan {2.4g 5g 6g } wds authentication_method	121
wlan {2.4g 5g 6g} wireless_multicast_snooping	122
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds add	123
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds delete	124
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds mode	126
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds vlan_mode	127
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds functionality	129
wlan mlo addsecurity	130
wlan mlo broadcast_ssid	131
wlan mlo {disable enable}	132
wlan mlo interface_select authentication_method	133
wlan mlo load_balancing	135
wlan mlo ssid	136
wlan mlo vlan	137
wlan mlo wds interface_select	138
wlan mlo wireless_client_isolation	139
wlan 2.4g band	140
wlan 2.4g conslot	142
wlan 2.4g preamble	143
wlan 5g band	144

wlan 6g band	146
wlan {5g 6g} beamforming	148
wlan emergency_mode {disable enable}	149
wlan guest_network admin_mac	150
wlan guest_network auth_type	151
wlan guest_network auth_type auth	152
wlan guest_network connectable_time	153
wlan guest_network {disable enable}	154
wlan guest_network guest_ap_name	155
wlan guest_network show status	156
wlan guest_network traffic_shap	157
wlan guest_network wlan	158
wlan maclist add	160
wlan maclist delete	161
wlan maclist edit	162
wlan maclist show status	163
wlan neighbor add	164
wlan neighbor delete	165
wlan wmm {ap sta}	166
wlan wmm qos	168
wlan wmm show status	169
wlan wps create pincode	170
wlan wps {disable enable}	171
wlan wps release	172
wlan wps show status	173
wlan wps start enrollee pincode	174
wlan wps start push_button	175
RADIUS コマンド	176
radius {2.4g 5g 6g mlo} {primary secondary} enable server	176

radius {2.4g 5g 6g mlo} {primary secondary} session_time.....	178
radius show status	179
EXIT コマンド	180
exit.....	180
QUIT コマンド	181
quit.....	181
付録編	182
索引	183

導入編

用語	9
このマニュアルで使われている用語	9
このマニュアルで使われている記号	9
このマニュアルをお読みになる前に	10
コマンドラインインターフェースをご使用前に	11
ファームウェアを最新の状態にする	11
ターミナルソフトをインストールする	11
本製品と設定用パソコンを接続する	12
コンソールポートを使用してシリアル接続する場合	12
ネットワーク経由でSSH接続する場合	13
コマンドラインインターフェースにログインする ...	15
シリアル接続の場合	15
SSH接続の場合	17

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線 LAN アクセスポイント「WAB-BE シリーズ」を「本製品」と表記しています。
11be/ 11ax / 11ac / 11n / 11g / 11b / 11a	IEEE802.11be 規格を「11be」、IEEE802.11ax 規格を「11ax」、IEEE802.11ac 規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G) 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」、IEEE802.11a 規格を「11a」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n (2.4GHz 帯) / 11g/11b の略です。
11an/ac	11a/11n (5GHz 帯) / 11ac の略です。
無線 AP	無線 LAN アクセスポイントを略して「無線 AP」と表記しています。
無線親機	無線 LAN ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線 LAN 子機	無線 LAN 機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線 LAN 子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線 LAN 子機」として表記している場合があります。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を知らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

このマニュアルは、無線 LAN アクセスポイント WABシリーズ（以降、本製品）で利用できるコマンドラインインターフェースの各コマンドの機能、シンタックス（構文）、パラメーター、入力例などについて説明しています。

このマニュアルでは、すでに本製品の導入作業が完了していることを前提に説明しています。

本製品を使用するにあたっての手順や設定方法、注意事項が記載されている「クイックガイド」および「ユーザーズマニュアル」とあわせてお読みください。

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

コマンドラインインターフェースをご使用前に

ファームウェアを最新の状態にする

コマンドラインインターフェースを利用する前に、必ず本製品のファームウェアを最新の状態に更新しておいてください。機能の追加や不具合の改善などが実行されます。詳細は、「ユーザーズマニュアル」の「ファームウェア更新」を参照してください。

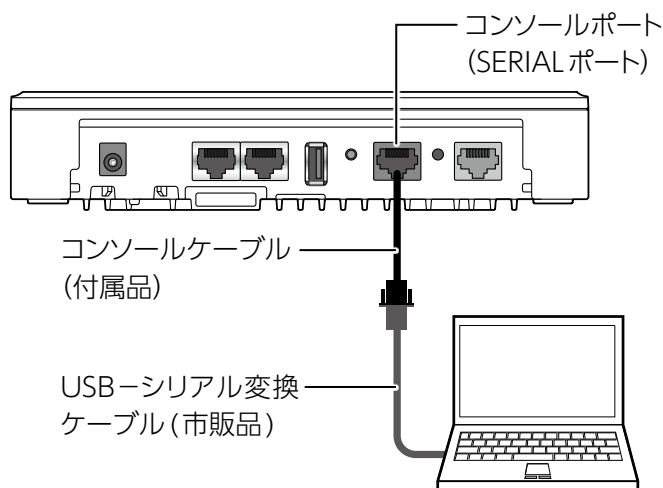
ターミナルソフトをインストールする

設定用パソコンからコマンドを入力するには、ターミナルソフトを使用します。このマニュアルでは、ターミナルソフトにTeraTermを使用した場合を例として説明しています。ご使用の環境で利用可能なターミナルソフトを使用してください。

本製品と設定用パソコンを接続する

コンソールポートを使用してシリアル接続する場合

本製品のコンソールポート（SERIAL ポート）と、本製品の設定に使用するパソコンをコンソールケーブルで接続します。



重要

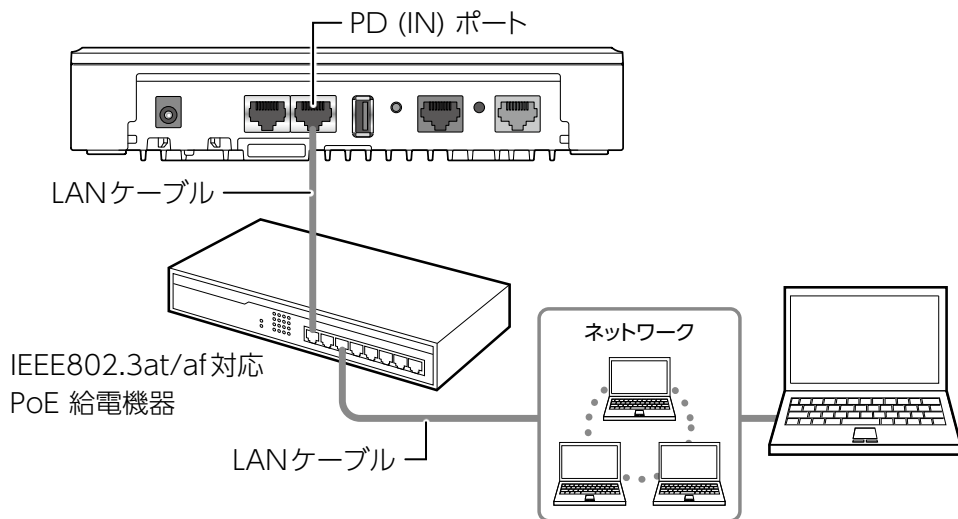
各製品の「保守用」というシールが貼られた黄色いポートには、絶対に LAN ケーブルやコンソールケーブルを接続しないでください。本製品や設定用パソコンの故障につながる恐れがあります。

MEMO

イラストは WAB-BE72-M の場合です。各製品の「SERIAL」と記載されたポートに接続してください。ご使用になる時はポートのシールを剥がしてご利用ください。設定用パソコンにシリアルポートがない場合は、USB シリアル変換ケーブルを使用してください。

ネットワーク経由でSSH 接続する場合

- 1 本製品を接続しているネットワークに、本製品の設定に使用するパソコンをLANケーブルで接続します。



重要

各製品の「保守用」というシールが貼られた黄色いポートには、絶対にLANケーブルやコンソールケーブルを接続しないでください。本製品や設定用パソコンの故障につながる恐れがあります。

MEMO

イラストはWAB-BE72-Mの場合です。各製品の「PD (IN)」と記載されたポートに接続してください。

- 2 設定用パソコンで、管理画面 (設定画面) を表示します。
- 3 左メニューから [ツールボックス] - [管理者] を選択します。

4 [詳細設定] - [管理プロトコル]の「SSH」にチェックを入れ、「適用」をクリックします。

設定インターフェースの「SSH」が有効になります。

The screenshot shows the management interface for the ELECOM WAB Smart Series. The page is titled 'ELECOM Wireless AP for Business' and includes navigation links for 'ホーム' (Home), 'ログアウト', and 'Japan (日本語)'. The main menu on the left includes 'ツールボックス' (Toolbox), '設定者' (Settings), '日時' (Date/Time), 'アドミニク' (Admin), '基本設定' (Basic Settings), '詳細設定' (Detailed Settings), '設定を保存/復元' (Save/Restore Settings), '初期化' (Initialize), 'ファームウェア更新' (Firmware Update), 'ファームウェア確認' (Firmware Check), 'I'm here', '部電' (Power), '再起動スケジュール' (Restart Schedule), 'LED設定' (LED Settings), and '再起動' (Restart).

The '管理プロトコル' (Management Protocols) section is highlighted, showing the following settings:

- 製品名: WAB3897A4002C00
- 管理プロトコル: ☒ HTTP, ☒ SSH, ☒ SNMP
- SNMPバージョン: v1/v2c
- SNMP取得コミュニティ:
- SNMP設定コミュニティ:
- SNMP ユーザー名:
- SNMP 認証タイプ: MD5
- SNMP 認証パスワード:
- SNMP 暗号化タイプ: 暗号化しない
- SNMPシステムロケーション:
- SNMPトラップ: 無効
- SNMPトラップコミュニティ:
- SNMPトラップマネージャ:

At the bottom of the page, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel). The '適用' button is highlighted with a red box.

コマンドラインインターフェースにログインする

ここでは、ターミナルソフトにTera Term (Version 5.4.0)を使用した場合を例として説明しています。ターミナルソフトについての詳細は、ご使用になるターミナルソフトのマニュアルやヘルプなどを参照してください。

重要

設定ユーティリティにログインしている場合は、コマンドラインインターフェースにログインできません。設定ユーティリティをログアウトしてから、コマンドラインインターフェースにログインしてください。

シリアル接続の場合

1 設定用パソコンで、ターミナルソフト Tera Term を起動します。
新しい接続画面が表示されます。

2 「シリアル」を選択したあと、[ポート]で使用しているポートを選択し、「OK」をクリックします。
メイン画面が表示されます。

<ターミナルソフトでの設定>

接続	シリアル
ポート	使用するCOMポート

3 [設定]メニューで [シリアルポート] をクリックします。
シリアルポート設定画面が表示されます。

4 シリアルポートを次のように設定し、「OK」をクリックします。

<ターミナルソフトでの設定>

ポート	使用するCOMポート
ボー・レート	115200
データ	8 bit
パリティ	none (なし)
ストップ	1 bit
フロー制御	none (なし)

- 5** メイン画面に戻ります。正しくシリアル接続されると、文字入力ができます。ユーザー名を入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
admin
```

MEMO ユーザー名の初期値は、「admin」です。

- 6** メイン画面に「Password:」と表示されます。パスワードを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
admin
Password: admin
```

MEMO
パスワードの初期値は「admin」です。

- 7** パスワードが認証されると、メイン画面に「*** Hi admin, welcome to use cli ***」と表示されたあと、「man\$」と表示されます。

```
admin
Password: admin
*** Hi admin, welcome to use cli ***
man$
```

これで、シリアル接続で本製品のコマンドラインインターフェースにログインされました。

SSH 接続の場合

- 1 **設定用パソコンで、ターミナルソフト Tera Term を起動します。**
新しい接続画面が表示されます。

- 2 **「TCP/IP」を選択し、以下項目を設定して「OK」をクリックします。**
メイン画面が表示されます。

<ターミナルソフトでの設定>

接続	TCP/IP
ホスト	本製品の IP アドレス
サービス	SSH

MEMO IPアドレスの初期値は、「192.168.3.1」です。

重要 DHCP 機能によりIPアドレスを自動で割り当てている場合、コマンドが実行されると本製品との通信が切断されることがあります。

- 3 **SSH 認証画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。**

<ターミナルソフトでの設定>

ユーザー名	admin
パスフレーズ	admin
認証方式	プレーンパスワードを使う

MEMO ユーザー名とパスフレーズの初期値は、「admin」です。

- 4 **パスワードが認証されると、メイン画面に「man\$」と表示されます。**

man\$

これで、SSH 接続で本製品のコマンドラインインターフェースにログインされました。

コマンドリファレンス編

コマンドモード	24
編集モード	24
即時モード	28
参照モード	31
コマンドリファレンスの見かた	35
CONFIG コマンド	37
config apname	37
config basic_info show status	38
config buzzer time	39
config date	40
config firmware	41
config init	43
config led_setting	44
config management	45
config ntp client	47
config password	49
config power_saving	50
config power_saving led	51
config power_saving schedule add	52
config power_saving schedule delete	54
config reboot	55
config restore	56
config save	58
config syslog client	60
config timezone	62
config username	65

LANコマンド	66
lan ether port {pd pse} 8023az	66
lan ether port {pd pse} link	67
lan ether port {pd pse} media mdi	68
lan ether port {pd pse} vlan mode	70
lan ether show status	72
lan ip defaultgw	73
lan ip dhcp	74
lan ip dns	75
lan ip show status	76
lan ip static	77
lan ip vlan	78
SHOW STATUS コマンド	79
show status config	79
show status lan	81
show status radius	82
show status system_info	83
show status wlan {2.4g 5g 6g mlo}	84
show status wlan emergency_mode	86
show status wlan guest_network	87
show status wlan maclist	88
show status wlan monitor	89
show status wlan wmm	90
show status wlan wps	91
WLANコマンド	92
wlan {2.4g 5g} 80211n_protect	92

wlan {2.4g 5g 6g} aggregation.....	93
wlan {2.4g 5g 6g} airtimfairness	94
wlan {2.4g 5g 6g} basic_info show status.....	95
wlan {2.4g 5g 6g} beacon dtim.....	96
wlan {2.4g 5g 6g} beacon interval	97
wlan {2.4g 5g 6g} channel change_ch_if_STA_ connected	98
wlan {2.4g 5g 6g} channel interval	99
wlan {2.4g 5g 6g} {disable enable}.....	100
wlan {2.4g 5g 6g} fast_roaming.....	101
wlan {2.4g 5g 6g} fragmentthreshold.....	102
wlan {2.4g 5g 6g} gi	103
wlan {2.4g 5g 6g} keepalive	104
wlan {2.4g 5g 6g} mrate	105
wlan {2.4g 5g 6g} rtsthreshold	106
wlan {2.4g 5g 6g} ssid addsecurity.....	107
wlan {2.4g 5g 6g} ssid broadcastssid.....	109
wlan {2.4g 5g 6g} ssid create	110
wlan {2.4g 5g 6g} ssid loadbalance	111
wlan {2.4g 5g 6g} ssid privacy	113
wlan {2.4g 5g 6g} ssid rename	115
wlan {2.4g 5g 6g} ssid security.....	116
wlan {2.4g 5g 6g} ssid vlan	118
wlan {2.4g 5g 6g} txpower	119
wlan {2.4g 5g 6g} uapsd.....	120
wlan {2.4g 5g 6g } wds authentication_method	121

wlan {2.4g 5g 6g} wireless_multicast_snooping.....	122
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds add	123
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds delete.....	124
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds mode.....	126
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds vlan_mode.....	127
wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds functionality	129
wlan mlo addsecurity	130
wlan mlo broadcast_ssid.....	131
wlan mlo {disable enable}	132
wlan mlo interface_select authentication_method...	133
wlan mlo load_balancing.....	135
wlan mlo ssid	136
wlan mlo vlan.....	137
wlan mlo wds interface_select	138
wlan mlo wireless_client_isolation	139
wlan 2.4g band.....	140
wlan 2.4g conslot.....	142
wlan 2.4g preamble.....	143
wlan 5g band	144
wlan 6g band	146
wlan {5g 6g} beamforming.....	148
wlan emergency_mode {disable enable}	149
wlan guest_network admin_mac.....	150
wlan guest_network auth_type.....	151
wlan guest_network auth_type auth	152
wlan guest_network connectable_time	153

wlan guest_network {disable enable}	154
wlan guest_network guest_ap_name	155
wlan guest_network show status	156
wlan guest_network traffic_shap	157
wlan guest_network wlan	158
wlan maclist add	160
wlan maclist delete	161
wlan maclist edit	162
wlan maclist show status	163
wlan neighbor add	164
wlan neighbor delete	165
wlan wmm {ap sta}	166
wlan wmm qos	168
wlan wmm show status	169
wlan wps create pincode	170
wlan wps {disable enable}	171
wlan wps release	172
wlan wps show status	173
wlan wps start enrollee pincode	174
wlan wps start push_button	175

RADIUS コマンド 176

radius {2.4g 5g 6g mlo} {primary secondary} enable server	176
radius {2.4g 5g 6g mlo} {primary secondary} session_time	178
radius show status	179

EXIT コマンド	180
exit	180
QUIT コマンド	181
quit	181

コマンドモード

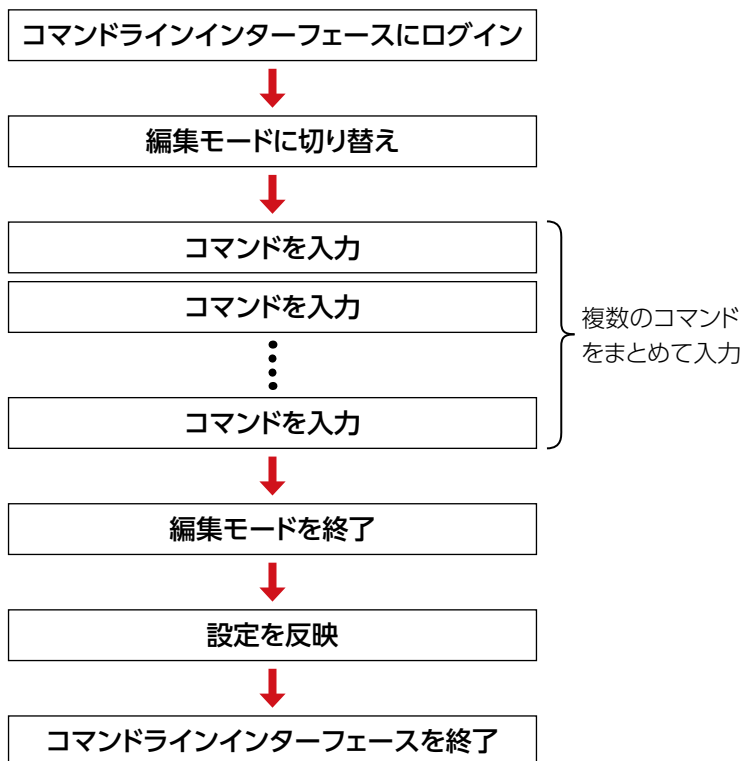
コマンドラインインターフェースには、次の3種類のコマンドモードがあります。
コマンドモードによって、操作の流れや使用できるコマンドが異なります。

- 編集モード
- 即時モード
- 参照モード

編集モード

複数のコマンドをまとめて入力し、ターミナルソフトの終了時にまとめて設定を反映します。

■ コマンド入力の操作の流れ



■ 操作手順例

1 設定用パソコンでターミナルソフトを起動し、コマンドラインインターフェースにログインします。

正しくログインされると、「man\$」と表示されます。

→ 15 ページ

2 “edit start” コマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ edit start
```

正しく入力されると「Start edit, Continue (Y/N)」と表示されます。

3 “y” と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ edit start
Start edit, Continue (Y/N) y
```

編集モードに切り替わり「man[edit]\$」と表示されます。

4 コマンドを入力します。

```
man$ edit start
Start edit, Continue (Y/N) y
man[edit]$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
man[edit]$ config timezone 50
```

MEMO 複数のコマンドを続けて入力できます。

5 すべてのコマンドの入力が完了したら、“edit end” コマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ edit start
Start edit, Continue (Y/N) y
man[edit]$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
man[edit]$ config timezone 50
man[edit]$ edit end
```

正しく入力されると、編集モードが終了します。

また、コマンドの設定の反映が開始され、以下のような表示になります。

本製品にコマンドの設定が反映されて「man\$」と表示されるまでお待ちください。

```
man$ edit start
Start edit, Continue (Y/N) y
man[edit]$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
man[edit]$ config timezone 50
man[edit]$ edit end
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
```

MEMO

「Apply change , Please wait for XX seconds.」のXXはコマンドの設定を反映するまでの時間です。コマンドの数や種類によって表示される秒数は異なります。

- 6** 「man\$」と表示されたら、本製品にコマンドの設定が反映されます。“exit” コマンドまたは “quit” コマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ edit start
Start edit, Continue (Y/N) y
man[edit]$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
man[edit]$ config timezone 50
man[edit]$ edit end
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
man$ exit
```

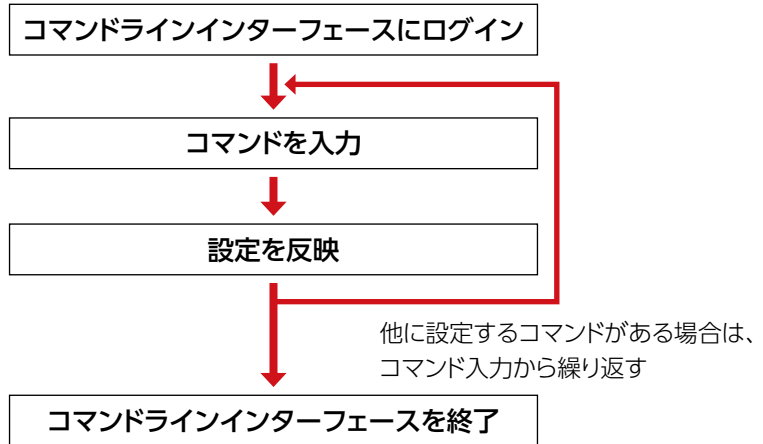
- 7** コマンドラインインターフェースが終了し、「Exit this session」と表示されますので、ターミナルソフトを終了します。

```
man$ edit start
Start edit, Continue (Y/N) y
man[edit]$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
man[edit]$ config timezone 50
man[edit]$ edit end
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
man$ exit
Exit this session
Name:
```

即時モード

入力したコマンドの設定内容を確認します。

■ コマンド入力の操作の流れ



■ 操作手順例

- 1 設定用パソコンでターミナルソフトを起動し、コマンドラインインターフェースにログインします。

正しくログインされると、「man\$」と表示されます。

→ 15 ページ

- 2 コマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
```

本製品にコマンドの設定が反映されて「man\$」と表示されるまでお待ちください。

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
```

MEMO

「Apply change , Please wait for XX seconds.」のXXはコマンドの設定を反映するまでの時間です。コマンドの数や種類によって表示される秒数は異なります。

- 3 「man\$」と表示されたら、本製品にコマンドの設定が反映されます。他のコマンドを設定する場合は、手順 2 と 3 を繰り返します。**

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
man$ config timezone 50
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
man$
```

- 4 すべてのコマンドの設定が完了したら、“exit” コマンドまたは“quit” コマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。**

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth
auto_40_20m
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
man$ config timezone 50
Apply change , Please wait for XX seconds.
.....
man$ exit
```

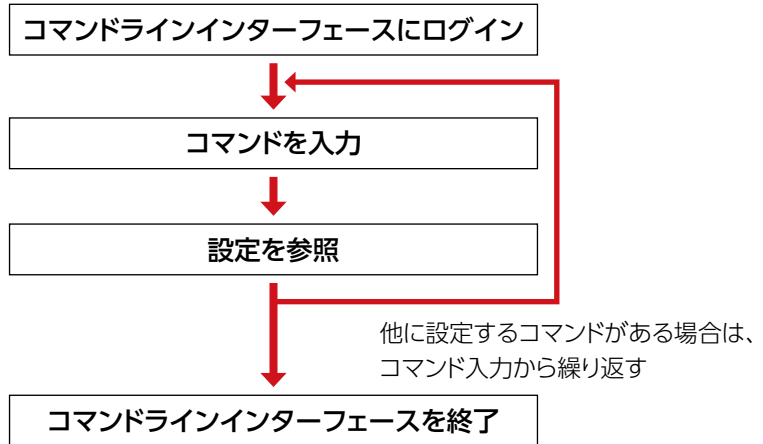
- 5** コマンドラインインターフェースが終了し、「Exit this session」と表示されますので、ターミナルソフトを終了します。

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth  
auto_40_20m  
Apply change , Please wait for XX seconds.  
.....  
man$ config timezone 50  
Apply change , Please wait for XX seconds.  
.....  
man$ exit  
Exit this session Name:
```

参照モード

入力したコマンドの設定内容を確認します。

■ コマンド入力操作の流れ



■ 操作手順例

- 1 設定用パソコンでターミナルソフトを起動し、コマンドラインインターフェースにログインします。

正しくログインされると、「man\$」と表示されます。

→ 15 ページ

- 2 設定を確認したいコマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ config basic_info show status date&time
```

入力したコマンドの設定内容が表示されます。

```
man$ config basic_info show status date&time
Date and Time Settings
Local Time
Year 2013
Month 9
Day 1
Hour 0
Minute 1
Second 16
-----
NTP Time Server
Use NTP Disable
-----
Time Zone
Time Zone Osaka, Sapporo, Tokyo
man$
```

他のコマンドの設定内容を確認する場合は、手順 **2** を繰り返します。

- 3** すべてのコマンドの確認が完了したら、“exit” コマンドまたは “quit” コマンドを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

```
man$ config basic_info show status date&time
Date and Time Settings
Local Time
Year 2013
Month 9
Day 1
Hour 0
Minute 1
Second 16
-----
NTP Time Server
Use NTP Disable
-----
Time Zone
Time Zone Osaka, Sapporo, Tokyo
man$ exit
```

- 4** コマンドラインインターフェースが終了し、「Exit this session」と表示されますので、ターミナルソフトを終了します。

```
man$ config basic_info show status date&time
Date and Time Settings
Local Time
Year 2013
Month 9
Day 1
Hour 0
Minute 1
Second 16
-----
NTP Time Server
Use NTP Disable
-----
Time Zone
Time Zone Osaka, Sapporo, Tokyo
man$ exit
Exit this session Name:
```

コマンドリファレンスの見かた

各コマンドの詳細ページでは、次の内容について説明しています。

● コマンドシンタックス

コマンドとパラメーターの入力順序や形式を示す構文について記載しています。
コマンドシンタックスは、どの機能を設定また実行するかを示すコマンドと、その設定内容や設定値を示すパラメーターで構成されます。

wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 40 bandwidth auto_40_20m

コマンド

パラメーター

MEMO

末尾に [force] と記載されているコマンドについて

“config init force” などのように、末尾に “force” を入力した場合、コマンドを入力してキーボードの [Enter] キーを押すと、すぐに設定を反映し、コマンドラインインターフェースが終了されます。

ただし、確認メッセージが省略されますので、入力間違いのないよう十分に注意してください。

● パラメーター

設定内容および設定値について記載しています。
括弧で囲んでいるパラメーターは次の意味を示します。

括弧	意味
()	設定値などの変数を入力します。
{ }	“ ” で区切った選択肢の中から 1 つを選んで入力します。
[]	入力を省略できます。 “ ” で区切ったパラメーターの場合は、選択肢の中から 1 つを選んで入力します。

● デフォルトの設定

工場出荷時の初期値を記載しています。

● コマンドモード

使用できるコマンドモードを記載しています。

コマンドモードに対応していないコマンドは、使用できません。

● 対応製品

コマンドに対応している機種を記載しています。

● 入力例

コマンドを使用した入力例を記載しています。

重要

SSHを使用して設定を行った場合、コマンドが実行されると本製品との通信が切断されることがあります。

CONFIGコマンド

config apname

本製品の本体名称を設定します。この名称が、転送ログ (syslog) などで使用されます。

● コマンドシンタックス

config apname (apname)

● パラメーター

(apname)	本製品の本体名称を入力します。 半角英数字および「-」で1～32文字の範囲で設定します。 「-」は製品名の先頭または末尾に設定できません。
----------	---

● デフォルトの設定

「WAB」+有線LANのMACアドレス

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config apname sales-div-ap
```

config basic_info show status

本製品の設定情報を表示します。

● コマンドシンタックス

```
config basic_info show status {admin | buzzer | date&time | led_settings |  
syslog_server}
```

● パラメーター

admin	管理者の設定情報が表示されます。
buzzer	本製品のブザーの鳴動時間が表示されます。
date&time	本製品の内部時計の現在時刻と設定が表示されます。
led_settings	本製品のLED設定が表示されます。
syslog_server	ログ情報転送機能の設定が表示されます。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config basic_info show status date&time
```

config buzzer time

設置場所を特定するために、本製品のブザーを鳴らしたときの鳴動時間を設定します。

● コマンドシンタックス

config buzzer time (time)

● パラメーター

(time)	ブザーを鳴らしたときの鳴動時間を 1 ～ 300 秒の範囲で設定します。
--------	--------------------------------------

● デフォルトの設定

10 秒

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config buzzer time 30
```

config date

本製品の内蔵時計を設定します。

● コマンドシンタックス

config date (date) (time)

● パラメーター

(date)	以下の形式で日付を入力します。 yyyy/mm/dd
(time)	以下の形式で時刻を入力します。 hh:mm:ss hh:mm

● デフォルトの設定

2012/01/01 00:00:00

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config date 2012/10/10 12:34:56
man$ config date 2022/12/12 15:30
```


config firmware

本製品のファームウェアをアップデートします。ファームウェアをアップデートすると、機能の追加や不具合の改善などが実行されます。

重要

- ファームウェア更新中は本体のLEDが点滅します。LEDの点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品の故障の原因になります。書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。
- 当社が提供するファームウェアのアップデートファイル以外は使用しないでください。
- ファームウェアのアップデートを実行すると、アップデートの失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。
- 次の場合は、ファームウェアのアップデート時にエラーになります。
 - ・ 別機種のアップデートファイルの場合
 - ・ アップデートファイルが破損している場合

● コマンドシンタックス

<USB メモリからアップデートする場合>

config firmware target usb file (filename)

<TFTP サーバーからアップデートする場合>

config firmware target tftp server (tftp-server) file (filename)

● パラメーター

usb	本製品のUSBポートに挿入したUSBメモリからファームウェアをアップデートします。
tftp server	指定したTFTPサーバーからファームウェアをアップデートします。
(tftp-server)	ファームウェアを保存しているTFTPサーバーのIPアドレスを入力します。
(filename)	ファームウェアの名前を入力します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<USBメモリからアップデートする場合>

```
man$ config firmware target usb file wab-be72-m_v1.0.0.bin
```

<TFTPサーバーからアップデートする場合>

```
man$ config firmware target tftp server 192.168.11.101 file  
wab-be187-m_v1.0.19.bin
```

※ ファイル名、ファームウェアバージョンはご利用のモデルにより異なります。

config init

本製品のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

● コマンドシンタックス

```
config init factory_default [force]
```

```
config init factory_default_excepting_IP [force]
```

● パラメーター

factory_default	すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。
factory_default_excepting_IP	IPアドレス設定を除くすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config init factory_default
```

```
man$ config init factory_default_excepting_IP force
```

config led_setting

本製品のLED設定を行います。

● コマンドシンタックス

```
config led_setting {led} {on | off}
```

● パラメーター

led	power	電源LEDをオンまたはオフにします。
	lan	有線LAN LEDをオンまたはオフにします。
	usb	USB LEDをオンまたはオフにします。
	wlan_0	2.4GHz LEDをオンまたはオフにします。
	wlan_1	5GHz LEDをオンまたはオフにします。
	wlan_2	6GHz LEDをオンまたはオフにします。

● デフォルトの設定

すべてオン

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	power、lan、usb、wlan_0 (2.4G)、wlan_1 (5G)、wlan_2 (6G)をサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	power、lan、usb、wlan_0 (2.4G)、wlan_1 (5G)のみサポート

● 入力例

```
man$ config led_setting lan on
```

```
man$ config led_setting usb off
```

config management

本製品で使用する設定インターフェースについて設定します。

● コマンドシNTAXス

config management {protocol} {disable | enable}

config management snmp version v1/v2 rcom (rcom) rwcom (rwcom)

config management snmp version v3 username (username) authtype
{MD5 | SHA | NONE} authpassword (authpassword) encrypttype
{AES128 | DES | NONE} presharedkey (presharedkey)

config management snmp syslocation (syslocation)

config management snmp trap {disable | enable} trapcom (trapcom) ip
(ipaddress)

● パラメーター

protocol	http	Web ブラウザからHTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。
	ssh	SSH ポートを開放し、コマンドで設定できるインターフェースです。
	snmp	SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。
(rcom)		SNMP [GETRequest] コマンドのコミュニティ名です。 変更する場合は、半角英数字および記号で6 ～ 32 文字の範囲で設定します。
(rwcom)		SNMP [SETRequest] コマンドのコミュニティ名です。 変更する場合は、半角英数字および記号で6 ～ 32 文字の範囲で設定します。
(authtype)	MD5	SNMP v3 で認証タイプをMD5に設定します。
	SHA	SNMP v3 で認証タイプをSHAに設定します。
	NONE	SNMP v3 で認証なしに設定します。
(encrypttype)	AES128	SNMP v3 で暗号化タイプをAES128に設定します。
	DES	SNMP v3 で暗号化タイプをDESに設定します。
	NONE	SNMP v3 で暗号化なしに設定します。
(authpassword)		SNMP v3 の認証パスワードを設定します。
(presharedkey)		SNMP v3 の事前共有キーを設定します。

(trapcom)	トラップコミュニティ名を設定します。
(ipaddress)	SNMPトラップマネージャのIPアドレスを設定します。

● デフォルトの設定

http	enable
ssh	disable
snmp	enable
rcom	public
rwcom	private
system location	Unknown

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<設定インターフェースの有効 / 無効を設定する場合>

```
man$ config management snmp enable
```

<SNMP プロトコルのバージョンのv1/v2cを使用する場合>

```
man$ config management snmp version v1/v2 rcom rcomelecom rwcom  
rcomelecom
```

<SNMP プロトコルのバージョンのv3を使用する場合>

```
man$ config management snmp version v3 username elecom authtype  
SHA authpassword abcd1234 encrypttype AE128 preshared key  
12345678
```

config ntp client

本製品の内部時計のNTP サーバー機能を設定します。

重要

本製品の内部時計は本製品の再起動、または電源が切断すると初期値に戻ります。

MEMO

NTP サーバーを正しく設定することによって、再起動または電源オン時に時計を自動的に調整することができます。

● コマンドシンタックス

<NTP サーバー機能を使用しない場合>

```
config ntp client disable
```

<NTP サーバー機能を使用する場合>

```
config ntp client enable server (ntp-server) interval (ntp-interval)
```

● パラメーター

disable	NTP サーバー機能を使用しません。
enable	NTP サーバー機能を使用します。
(ntp-server)	使用するNTPサーバーのIPアドレスを入力します。 半角英数字および「.」、「」で1～128文字の範囲で設定します。 「.」、「」はサーバー名の先頭または末尾に設定できません。 ホスト名を設定する場合は、DNSが設定されている必要があります。
(ntp-interval)	NTPサーバーへの時刻確認の間隔を入力します。 1～24時間（時間単位）の範囲で設定します。

● デフォルトの設定

使用しない

ntp-interval: 24時間

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

<NTPサーバー機能を使用する場合>

```
man$ config ntp client enable server 192.168.3.99 interval 12
```

<NTPサーバー機能を使用しない場合>

```
man$ config ntp client disable
```


config password

管理画面にログインするためのパスワードを設定します。

● コマンドシンタックス

config password (username) (oldpassword) (newpassword)

● パラメーター

(username)	ユーザー名を指定します。
(oldpassword)	現在設定されているパスワードを入力します。
(newpassword)	新しいパスワードを入力します。

● デフォルトの設定

管理者名	admin
管理者パスワード	admin

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config password admin admin abc789
```

config power_saving

本製品の節電設定を行います。

● コマンドシンタックス

config power_saving {disable | enable}

● パラメーター

disable	節電機能を無効にします。
enable	節電機能を有効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config power_saving enable
```

config power_saving led

本製品の節電設定・ユーザー設定を行います。

● コマンドシンタックス

```
config power_saving led {off | on} wlan_2.4g {disable | enable} wlan_5g
{disable | enable} wlan_6g {disable | enable} guest_network {disable |
enable}
```

● パラメーター

led	off	節電機能が有効な間、LEDは消灯します。
	on	節電機能が有効な間も、LEDは点灯したままにします。
wlan_2.4g wlan_5g wlan_6g guest_network	disable	節電機能が有効な間、無線を停止します。
	enable	節電機能が有効な間も、無線を出力します。

● デフォルトの設定

led	on
wlan_2.4g	disable
wlan_5g	disable
wlan_6g	disable
guest_network	disable

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	wlan_2.4g、wlan_5g、wlan_6gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	wlan_2.4g、wlan_5gのみサポート

● 入力例

```
man$ config power_saving led off wlan_2.4g disable wlan_5g
disable wlan_6g disable guest_network disable
```

config power_saving schedule add

本製品の節電設定のスケジュールを追加します。

●コマンドシンタックス

```
config power_saving schedule add {mon_no | mon_yes} {tue_no | tue_
yes} {wed_no | wed_yes} {thu_no | thu_yes} {fri_no | fri_yes} {sat_
no | sat_yes} {sun_no | sun_yes} start_time {start_time} {am | pm}
end_time {end_time} {am | pm}
```

●パラメーター

{mon_yes mon_no} ~ {sun_yes sun_no}	各曜日にスケジュールを適用するかどうかを指定します。 (月曜日に設定する場合の例: mon_yes)	
{start_time} / {end_time}	開始時刻／終了時刻を以下の対応表に従って設定します。	
	値	時刻
	0.5	0:30
	1	1:00
	1.5	1:30
	2	2:00
	2.5	2:30
	3	3:00
	3.5	3:30
	4	4:00
	4.5	4:30
	5	5:00
	5.5	5:30
	6	6:00
	6.5	6:30
	7	7:00
	7.5	7:30
	8	8:00
	8.5	8:30
	9	9:00
	9.5	9:30
	10	10:00
	10.5	10:30
	11	11:00
	11.5	11:30

●デフォルトの設定

ありません。

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<月曜と火曜に、午前4時から午後3時まで省電力を有効にするスケジュールを追加>

```
man$ config power_saving schedule add mon_yes tue_yes wed_no  
thu_no fri_no sat_no sun_no start_time 4 am end_time 3 pm
```

<土曜と日曜に、午後1時30分から午後10時まで省電力を有効にするスケジュールを追加>

```
man$ config power_saving schedule add mon_no tue_no wed_no thu_  
no fri_no sat_yes sun_yes start_time 1.5 pm end_time 10 pm
```

config power_saving schedule delete

本製品へ設定済みの節電設定のスケジュールを削除します。

● コマンドシンタックス

```
config power_saving schedule delete all
```

```
config power_saving schedule delete num (num)
```

● パラメーター

all	すべてのスケジュールを削除します。
num	選択したスケジュール番号のテーブルを削除します。
(num)	削除するテーブル番号を入力します。(1 ~ 8)

● デフォルトの設定

ありません。

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config power_saving schedule delete all
```

```
man$ config power_saving schedule delete num 1
```

config reboot

本製品を再起動します。

- コマンドシンタックス

config reboot [force]

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード

- 入力例

<通常の再起動を実行>

```
man$ config reboot
```

<強制的に再起動を実行>

```
man$ config reboot force
```

config restore

“config save” コマンドで保存した設定ファイルを本製品に復元します。

重要

- 設定を復元すると、IP アドレスや無線の暗号化キーなどが設定ファイルを保存したときの設定に戻るため、本製品に接続できなくなる恐れがあります。
- 復元を実行すると、復元の失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。
- 次の設定ファイルは、復元できません。
 - ・ 保存した設定ファイルのファームウェアバージョンが現在の本製品のファームウェアバージョンよりも新しい場合
 - ・ 設定ファイルが破損している場合

● コマンドシンタックス

<USBメモリから復元する場合>

```
config restore target usb file (filename) pass (password) [force]
```

<TFTPサーバーから復元する場合>

```
config restore target tftp server (tftp-server) file (filename) pass (password) [force]
```

● パラメーター

usb	本製品のUSBポートに挿入したUSBメモリから設定ファイルを復元します。
tftp server	指定したTFTPサーバーから設定ファイルを復元します。
(tftp-server)	設定ファイルを保存しているTFTPサーバーのIPアドレスを入力します。
(filename)	設定ファイルの名前を入力します。
(password)	設定ファイルに設定されているパスワードを入力します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<USBメモリから復元する場合>

```
man$ config restore target usb file wba-i1750ps-file01.bin pass  
1750elecom force
```

<TFTPサーバーから復元する場合>

```
man$ config restore target tftp server 192.168.3.100 file wba-  
i1750ps-file01.bin
```

config save

本製品の現在の設定内容をUSBメモリやTFTP サーバーに設定ファイルとして保存します。

● コマンドシンタックス

<USBメモリに保存する場合>

config save target usb file (filename) [pass (password)] [force]

<TFTP サーバーに保存する場合>

config save target tftp server (tftp-server) file (filename) [pass (password)]
[force]

● パラメーター

usb	本製品のUSBポートに挿入したUSBメモリに設定ファイルを保存します。
tftp server	指定したTFTPサーバーに設定ファイルを保存します。
(tftp-server)	設定ファイルを保存するTFTPサーバーのIPアドレスを入力します。
(filename)	設定ファイルの名前を入力します。 ファイル名は、半角英数字および記号で1～32文字（拡張子を含みません）の範囲で設定してください。また、ファイル名の末尾に拡張子“.bin”を付けてください。 例) wba-i1750ps-file01.bin
(password)	設定ファイルを保護するためのパスワードを入力します。 パスワードは、半角英数字および記号で1～32文字の範囲で設定してください。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<USB メモリに保存する場合>

```
man$ config save target usb file wba-i1750ps-file01.bin pass  
1750elecom force
```

<TFTP サーバーに保存する場合>

```
man$ config save target tftp server 192.168.3.100 file wba-  
i1750ps-file01.bin
```

config syslog client

syslog プロトコルによるログ情報転送機能について設定します。

● コマンドシンタックス

<ログ情報転送機能を使用しない場合>

```
config syslog client disable
```

<ログ情報転送機能を使用する場合>

```
config syslog client enable server (servername)
```

<USBメモリへのログ情報転送機能を使用しない場合>

```
config syslog client usb disable
```

<USBメモリへのログ情報転送機能を使用する場合>

```
config syslog client usb enable
```

● パラメーター

disable	ログ情報転送機能を使用しません。
enable	ログ情報転送機能を使用します。
(servername)	Syslog サーバーの IP アドレスを入力します。
usb	本製品に挿入した USB メモリにログ情報をコピーする機能です。 この機能を使用する場合は、あらかじめ書き込み可能な対応 USB メモリを本製品の USB ポートに挿入しておいてください。
disable	USB メモリへのログ情報転送機能を使用しません。
enable	USB メモリへのログ情報転送機能を使用します。

● デフォルトの設定

ログ情報転送機能：使用しない

USBメモリへのログ情報転送機能：使用しない

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<ログ情報転送機能を使用しない場合>

```
man$ config syslog client disable
```

<ログ情報転送機能を使用する場合>

```
man$ config syslog client enable server 192.168.3.99
```

<USBメモリへのログ情報転送機能を使用しない場合>

```
man$ config syslog client usb disable
```

<USBメモリへのログ情報転送機能を使用する場合>

```
man$ config syslog client usb enable
```

config timezone

本製品の内部時計のタイムゾーンを設定します。

重要

本製品の内部時計は本製品の再起動、または電源が切断すると初期値に戻ります。

● コマンドシンタックス

config timezone (zone-name)

● パラメーター

(zone-name)	タイムゾーンの設定値を入力します。設定値は次のとおりです。
	0 : (GMT-12:00) Eniwetok, Kwajalein, International Date Line West
	1 : (GMT-11:00) Midway Island, Samoa
	2 : (GMT-10:00) Hawaii
	3 : (GMT-09:00) Alaska
	4 : (GMT-08:00) Pacific Time (US & Canada); Tijuana
	5 : (GMT-07:00) Arizona
	6 : (GMT-07:00) Chihuahua, La Paz, Mazatlan
	7 : (GMT-07:00) Mountain Time (US & Canada)
	8 : (GMT-06:00) Central America
	9 : (GMT-06:00) Central Time (US & Canada)
	10 : (GMT-06:00) Guadalajara, Mexico City, Monterrey
	11 : (GMT-06:00) Saskatchewan
	12 : (GMT-05:00) Bogota, Lima, Quito
	13 : (GMT-05:00) Eastern Time (US & Canada)
	14 : (GMT-05:00) Indiana (East)
	15 : (GMT-04:00) Atlantic Time (Canada)
	16 : (GMT-04:00) Caracas, La Paz
	17 : (GMT-04:00) Santiago
	18 : (GMT-03:00) Newfoundland
	19 : (GMT-03:00) Brasilia
	20 : (GMT-03:00) Buenos Aires, Georgetown
	21 : (GMT-03:00) Greenland
	22 : (GMT-02:00) Mid-Atlantic
	23 : (GMT-01:00) Azores

(zone-name)	24 : (GMT-01:00) Cape Verde Is. 25 : (GMT) Casablanca, Monrovia 26 : (GMT) Greenwich Mean Time: Dublin, Edinburgh, Lisbon, London 27 : (GMT+01:00) Amsterdam, Berlin, Bern, Rome, Stockholm, Vienna 28 : (GMT+01:00) Belgrade, Bratislava, Budapest, Ljubljana, Prague 29 : (GMT+01:00) Brussels, Copenhagen, Madrid, Paris 30 : (GMT+01:00) Sarajevo, Sofija, Warsaw, Zagreb, Skopje, Vilnius 31 : (GMT+01:00) West Central Africa 32 : (GMT+02:00) Athens, Istanbul, Minsk 33 : (GMT+02:00) Bucharest 34 : (GMT+02:00) Cairo 35 : (GMT+02:00) Harare, Pretoria 36 : (GMT+02:00) Helsinki, Riga, Tallinn 37 : (GMT+02:00) Jerusalem 38 : (GMT+03:00) Baghdad 39 : (GMT+03:00) Kuwait, Riyadh 40 : (GMT+03:00) Moscow, St. Petersburg, Volgograd 41 : (GMT+03:00) Nairobi 42 : (GMT+03:30) Tehran 43 : (GMT+04:00) Abu Dhabi, Muscat 44 : (GMT+04:00) Baku, Tbilisi, Yerevan 45 : (GMT+04:30) Kabul 46 : (GMT+05:00) Ekaterinburg 47 : (GMT+05:00) Islamabad, Karachi, Tashkent 48 : (GMT+05:30) Calcutta, Chennai, Mumbai, New Delhi 49 : (GMT+05:45) Kathmandu 50 : (GMT+06:00) Almaty, Novosibirsk 51 : (GMT+06:00) Astana, Dhaka 52 : (GMT+06:00) Sri, Jayawardenepura 53 : (GMT+06:30) Rangoon 54 : (GMT+07:00) Bangkok, Hanoi, Jakarta 55 : (GMT+07:00) Krasnoyarsk 56 : (GMT+08:00) Beijing, Hong Kong
-------------	---

(zone-name)	57 : (GMT+08:00) Irkutsk, Ulaan Bataar
	58 : (GMT+08:00) Kuala Lumpur, Singapore
	59 : (GMT+08:00) Perth
	60 : (GMT+08:00) Taipei, Taiwan
	61 : (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
	62 : (GMT+09:00) Seoul
	63 : (GMT+09:00) Yakutsk
	64 : (GMT+09:00) Adelaide
	65 : (GMT+09:30) Darwin
	66 : (GMT+10:00) Brisbane
	67 : (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney
	68 : (GMT+10:00) Guam, Port Moresby
	69 : (GMT+10:00) Hobart
	70 : (GMT+10:00) Vladivostok
	71 : (GMT+11:00) Magadan, Solamon, New Caledonia
	72 : (GMT+12:00) Auckland, Wllington
	73 : (GMT+12:00) Fiji, Kamchatka, Marshall Is.

● デフォルトの設定

(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config timezone 2
```


config username

本製品を管理するアカウント（管理者名と管理者パスワード）を設定します。

重要 セキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめいたします。

● コマンドシンタックス

```
config username admin (username) (newpassword) (confirmpassword)
idletimeout {enable | disable (idletime)}
```

● パラメーター

(username)	設定ユーティリティやコマンドインターフェースのログイン時に使用する管理者を入力します。 半角英数字および「」で4～16文字の範囲で設定します。 「」はユーザー名の先頭または末尾に設定できません。
(newpassword)	設定ユーティリティやコマンドインターフェースのログイン時に使用するパスワードを入力します。 半角英数字および記号で6～32文字の範囲で設定します。
(confirmpassword)	新しいパスワードを確認のため再入力します。
(idletime)	アイドルタイムアウト時間を入力します。(120～3600秒) ログインした状態で設定した時間操作がないと、自動的にログアウトします。

● デフォルトの設定

管理者名	admin
管理者パスワード	admin
idletime	180

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ config username admin administrator admin1234 admin1234
idletimeout disable 190
```

LAN コマンド

lan ether port {pd | pse} 8023az

Ether ポートの IEEE802.3az 機能を設定します。

● コマンドシンタックス

lan ether port {pd | pse} 8023az {disable | enable}

● パラメーター

pd	PD (IN) Ether ポートの IEEE802.3az 機能を設定します。
pse	LAN Ether ポートの IEEE802.3az 機能を設定します。
disable	指定した Ether ポートの IEEE802.3az を無効にします。
enable	指定した Ether ポートの IEEE802.3az を有効にします。 有効にすると、データの送受信がない待機状態のときに、Ether ポートへの電源供給を止めることで消費電力を減らします。 接続先の機器も IEEE802.3az に対応している必要があります。

● デフォルトの設定

すべて有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

PD (IN) Ether ポートを無効にする場合

```
man$ lan ether port pd 8023az disable
```

lan ether port {pd | pse} link

Ether ポートの設定を行います。

● コマンドシンタックス

lan ether port {pd | pse} link {disable | enable}

● パラメーター

pd	PD (IN)Ether ポートを設定します。
pse	LAN Ether ポートを設定します。
disable	指定したEther ポートを無効にします。
enable	指定したEther ポートを有効にします。

● デフォルトの設定

すべて有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<PD (IN)Ether ポートを無効にする場合>

```
man$ lan ether port pd link disable
```

lan ether port {pd | pse} media mdi

PHY の有線ポートを設定します。

● コマンドシンタックス

```
lan ether port {pd | pse} media mdi {mdi} speed auto flowctl {state}
```

```
lan ether port {pd | pse} media mdi {mdi} speed {speed} duplex {duplex}  
flowctl {state}
```

```
lan ether port {pd | pse} media mdi {mdi} speed 1000 duplex full flowctl  
{state}
```

● パラメーター

pd		有線ポートのPD (IN)を設定します。
pse		有線ポートのLANを設定します。
mdi	auto	自動認識に設定します。
speed	(ポート種別がpdの場合)	
	10000	10Gbps に設定します。
	5000	5Gbps に設定します。
	2500	2.5Gbps に設定します。
	1000	1Gbps に設定します。
	100	100Mbps に設定します。
	(ポート種別がpseの場合)	
	2500	2.5Gbps に設定します。
	1000	1Gbps に設定します。
	100	100Mbps に設定します。
	10	10Mbps に設定します。
duplex	full	全二重に設定します。
	half	半二重に設定します。
state	disable	フロー制御を無効にします。
	enable	フロー制御を有効にします。

● デフォルトの設定

mdi	auto
speed	auto
flowctl	enable

(すべてのポートが同じ設定です)

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M, WAB-BE72-M	設定可能な値は以下です。 pd : 100/1000/2500/5000/10000 pse : 10/100/1000/2500
WAB-BE36-M	設定可能な値は以下です。 pd : 10/100/1000/2500 pse : 10/100/1000

● 入力例

```
man$ lan ether port pd media mdi auto speed auto flowctl enable
```

```
man$ lan ether port pse media mdi auto speed 100 duplex full  
flowctl disable
```

```
man$ lan ether port pse media mdi auto speed 1000 duplex full  
flowctl enable
```

lan ether port {pd | pse} vlan mode

Ether ポートの VLAN について設定します。

MEMO

有線 LAN から管理用 VLAN へのアクセスできるようにするために、VLAN の設定を次のいずれかの条件に適合させてください。

- いずれかの Ether ポートがタグ付きポート (tagged)
- 両方の Ether ポートがタグなしポート (untagged) の場合は、いずれかのポートの VLAN ID が管理 VLAN ID と同じ

重要

VLAN 設定を変更した場合は、操作が中断されることがあります。

● コマンドシンタックス

lan ether port {pd | pse} vlan mode {tagged | untagged} vlan (vlanid)

● パラメーター

pd	PD (IN) Ether ポートの VLAN を設定します。
pse	LAN Ether ポートの VLAN を設定します。
tagged	Ether ポートをタグ付きのポートとして設定します。 ポートで送受信するすべてのフレームに IEEE802.1Q 準拠の VLAN タグが付与されます。受信したフレームをすべて転送することができます。
untagged	Ether ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。
(vlanid)	「untagged : タグなしポート」の場合に、インターフェース VLAN に関連づける VLAN のネットワーク ID を 1 ~ 4094 の範囲で入力します。VLAN ID が異なる Ether ポートやネットワークと通信することはできません。

● デフォルトの設定

VLAN モード	タグなし
VLAN ID	1

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<PD (IN)EtherポートのVLANモードをタグなしポートに設定する場合>

```
man$ lan ether port pd vlan mode untagged vlan 100
```

<LAN EtherポートのVLANモードをタグ付きポートに設定する場合>

```
man$ lan ether port pse vlan mode tagged
```

lan ether show status

Ether ポートの設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

lan ether show status

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ lan ether show status
```


lan ip defaultgw

デフォルトゲートウェイを手動で設定します。設定したデフォルトゲートウェイアドレスを削除する場合は、クリアを入力します。

● コマンドシンタックス

```
lan ip defaultgw {clear | (gateway)}
```

● パラメーター

(gateway)	デフォルトゲートウェイ IP アドレスを入力します。
-----------	----------------------------

● デフォルトの設定

ありません。

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

man\$ lan ip defaultgw clear

man\$ lan ip defaultgw 192.168.0.250

lan ip dhcp

IP アドレスの割り当て方法を DHCP クライアントに設定します。

- コマンドシンタックス

lan ip dhcp

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

DHCP クライアント

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ lan ip dhcp
```

lan ip dns

DNS サーバーのアドレスを設定します。

- コマンドシンタックス

```
lan ip dns {primary | secondary} { (dnserver) | clear }
```

- パラメーター

(dnserver)	DNS サーバーのIPアドレスを入力します。
------------	------------------------

- デフォルトの設定

なし

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

man\$ lan ip dns primary 10.10.1.127

man\$ lan ip dns secondary clear

lan ip show status

IP 設定の状態を表示します。

- コマンドシンタックス

lan ip show status

- パラメーター

なし

- デフォルトの設定

なし

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ lan ip show status
```

lan ip static

有線LANのIPアドレスやサブネットマスクを手動で設定します。

● コマンドシンタックス

lan ip static (ipaddress) subnet_mask (maskip)

● パラメーター

(ipaddress)	静的IPアドレスを入力します。
(maskip)	サブネットマスクを入力します。

● デフォルトの設定

DHCPクライアント

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ lan ip static 192.168.3.99 subnet_mask 255.255.255.0
```

lan ip vlan

管理用VLANのVLAN IDを設定します。

- コマンドシンタックス

lan ip vlan (vlanid)

- パラメーター

(vlanid)	管理用VLANのネットワークIDを1 ～ 4094の範囲で入力します。
----------	-------------------------------------

- デフォルトの設定

1

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

man\$ lan ip vlan 3

SHOW STATUSコマンド

各種設定の現在の設定情報を表示するコマンドです。

show status config

管理情報を表示します。

● コマンドシンタックス

show status config {admin | buzzer | date&time | led_settings | power_saving | syslog_server}

● パラメーター

admin	管理者の設定情報を表示します。
buzzer	I'm here の音の持続時間設定情報を表示します。
date&time	日時の設定情報を表示します。
led_settings	LED 設定の設定情報を表示します。
power_saving	節電の設定情報を表示します。
syslog_server	Syslog サーバーの設定情報を表示します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<管理者の設定情報を表示する場合>

```
man$ show status config admin
```

<I'm here の音の持続時間設定情報を表示する場合>

```
man$ show status config buzzer
```

<日時の設定情報を表示する場合>

```
man$ show status config date&time
```

<LED 設定の設定情報を表示する場合>

```
man$ show status config led_settings
```

<節電の設定情報を表示する場合>

```
man$ show status config power_saving
```

<Syslog サーバーの設定情報を表示する場合>

```
man$ show status config syslog_server
```


show status lan

有線インターフェースの設定情報を表示します。

● コマンドシンタックス

show status lan {ip | ether}

● パラメーター

ip	IP アドレスの設定情報を表示します。
ether	LAN ポートの設定情報を表示します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<IP アドレスの設定情報を表示する場合>

```
man$ show status lan ip
```

<LAN ポートの設定情報を表示する場合>

```
man$ show status lan ether
```

show status radius

無線機器の認証などで使用するRADIUSサーバーの設定情報を表示します。

● コマンドシンタックス

show status radius

● パラメーター

ありません

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

● 入力例

man\$ show status radius

show status system_info

本製品のシステム情報を一覧表示します。

● コマンドシンタックス

show status system_info

● パラメーター

ありません

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G のみサポート

● 入力例

```
man$ show status system_info
```

show status wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo}

本製品の無線LAN設定を表示します。

● コマンドシンタックス

show status wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo} {advanced | basic | clients | security | wds | setting}

● パラメーター

mlo	MLOの無線LAN設定を表示します。
clients	無線クライアントの情報を表示します。
wds	無線WDS設定を表示します。
setting	無線MLO設定を表示します。
6g	6GHz帯の無線LAN設定を表示します。
advanced	無線LANに関する詳細設定情報を表示します。
basic	無線LANに関する基本設定情報を表示します。
clients	無線クライアントの情報を表示します。
security	無線セキュリティ設定を表示します。
wds	無線WDS設定を表示します。
5g	5GHz帯の無線LAN設定を表示します。
advanced	無線LANに関する詳細設定情報を表示します。
basic	無線LANに関する基本設定情報を表示します。
clients	無線クライアントの情報を表示します。
security	無線セキュリティ設定を表示します。
wds	無線WDS設定を表示します。
2.4g	2.4GHz帯の無線LAN設定を表示します。
advanced	無線LANに関する詳細設定情報を表示します。
basic	無線LANに関する基本設定情報を表示します。
clients	無線クライアントの情報を表示します。
security	無線セキュリティ設定を表示します。
wds	無線WDS設定を表示します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

● 入力例

<5GHz帯の詳細設定情報を表示する場合>

```
man$ show status wlan 5g advanced
```

<2.4GHz帯の基本設定情報を表示する場合>

```
man$ show status wlan 2.4g basic
```

show status wlan emergency_mode

『大規模災害発生時における公衆無線LANの無料解放に関するガイドライン』に準拠した、災害用統一SSID『00000JAPAN』を実行する災害モードの設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

show status wlan emergency_mode

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ show status wlan emergency_mode
```

show status wlan guest_network

ゲストネットワークの設定を表示します。

- コマンドシンタックス

show status wlan guest_network

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

- 入力例

```
man$ show status wlan guest_network
```

show status wlan maclist

MACアドレスフィルタリングテーブルの設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

show status wlan maclist

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M	最大48件のMACアドレスフィルタをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	最大32件のMACアドレスフィルタをサポート

- 入力例

man\$ show status wlan maclist

show status wlan monitor

本製品の周囲に設置されている無線機器の使用状況を表示します。

● コマンドシンタックス

show status wlan monitor

● パラメーター

ありません

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G のみサポート

● 入力例

man\$ show status wlan monitor

show status wlan wmm

特定の通信にのみ優先順位を設定する WMM 設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

show status wlan wmm

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ show status wlan wmm
```

show status wlan wps

WPS の設定を表示します。

- コマンドシンタックス

show status wlan wps

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ show status wlan wps
```

WLANコマンド

wlan {2.4g | 5g} 80211n_protect

802.11nまたは802.11gのプロテクションを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan 5g 80211n_protect {state}

wlan 2.4g {protect} {state}

● パラメーター

protect	80211n_protect	802.11nのプロテクションを設定します。
	80211g_protect	802.11gのプロテクションを設定します。
state	disable	802.11nまたは802.11gのプロテクションを無効にします。
	enable	802.11nまたは802.11gのプロテクションを有効にします。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan 5g 80211n_protect enable
```

```
man$ wlan 2.4g 80211g_protect disable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} aggregation

アグリゲーションを有効または無効にします。

● コマンドシンタックス

wlan {media} aggregation {state}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのアグリゲーションを有効または無効にします。
	5g	5GHz帯の無線LANのアグリゲーションを有効または無効にします。
	6g	6GHz帯の無線LANのアグリゲーションを有効または無効にします。
state	disable	アグリゲーションを無効にします。
	enable	アグリゲーションを有効にします。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G をサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G のみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g aggregation enable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} airtimefairness

平等通信機能の設定を行います。

● コマンドシンタックス

wlan {media} airtimefairness {mode}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHzの平等通信機能の設定を行います。
	5g	5GHzの平等通信機能の設定を行います。
	6g	6GHzの平等通信機能の設定を行います。
state	disable	平等通信機能を無効にします。
	enable	平等通信機能を有効にします。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g airtimefairness enable
```

```
man$ wlan 5g airtimefairness disable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} basic_info show status

無線設定を表示します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} basic_info show status { advanced | basic | clients | security | wds}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHzの無線情報を表示します。
	5g	5GHzの無線情報を表示します。
	6g	6GHzの無線情報を表示します。
advanced		詳細情報を表示します。
basic		基本情報を表示します。
clients		接続クライアント情報を表示します。
security		セキュリティ設定を表示します。
wds		WDS設定を表示します。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g basic_info show status advanced
```

```
man$ wlan 5g basic_info show status security
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} beacon dtim

無線LANのDTIM送信間隔を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} beacon dtim (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのDTIM送信間隔を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのDTIM送信間隔を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのDTIM送信間隔を設定します。
(num)		省電力に関する情報を本製品から無線機器に送信する間隔を1～255の範囲で入力します。 間隔が大きいほど無線機器の省電力効果が増しますが、応答が遅くなります。ただし、無線機器の省電力の設定を有効にしていないと、この設定は無効です。

● デフォルトの設定

1ms

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g beacon dtim 199
```


wlan {2.4g | 5g | 6g} beacon interval

無線LANのビーコンフレーム送信間隔を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} beacon interval (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのビーコンフレームの送信間隔を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのビーコンフレーム送信間隔を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのビーコンフレーム送信間隔を設定します。
(num)		ビーコンフレーム送信間隔を 40 ～ 1000ms の範囲で入力します。 送信間隔を短くすると無線機器からの検出は早くなりますが、通信速度が低下する可能性があります。 通常は、デフォルトの設定（100ms）で使用してください。

● デフォルトの設定

100ms

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g beacon interval 499
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} channel change_ch_if_STA_connected

無線子機接続中のチャンネル変更について設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} channel change_ch_if_STA_connected {disable | enable}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの無線子機接続中のチャンネル変更について設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANの無線子機接続中のチャンネル変更について設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANの無線子機接続中のチャンネル変更について設定します。
disable		無線子機接続中のチャンネル変更を無効にします。
enable		無線子機接続中のチャンネル変更を有効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g channel change_ch_if_STA_connected enable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} channel interval

オートチャンネル機能のチャンネルを変更する間隔を設定します。オートチャンネル機能が有効の場合のみ設定できます。

● コマンドシNTAXス

wlan {media} channel interval {period}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのオートチャンネル間隔を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのオートチャンネル間隔を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのオートチャンネル間隔を設定します。
period		チャンネルを変更する間隔を指定します。
	half_hr	30 分間
	one_hr	1 時間
	two_hr	2 時間
	half_day	12 時間
	one_day	1 日
	two_day	2 日

● デフォルトの設定

30 分

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g channel interval one_hr
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} {disable | enable}

無線LAN機能を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} {disable | enable}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANを設定します。
disable		指定した無線LANを無効にします。
enable		指定した無線LANを有効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g enable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} fast_roaming

高速ローミングを有効または無効にします。

● コマンドシンタックス

wlan {media} fast_roaming {802_11k | 802_11r} {state}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの高速ローミングを有効または無効にします。
	5g	5GHz帯の無線LANの高速ローミングを有効または無効にします。
	6g	6GHz帯の無線LANの高速ローミングを有効または無効にします。
fastroaming	802_11k	高速ローミング (802.11k)を設定する。
	802_11r	高速ローミング (802.11r)を設定する。
state	disable	高速ローミングを無効にします。
	enable	高速ローミングを有効にします。

● デフォルトの設定

802_11k	有効
802_11r	無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G をサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G および 5G のみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g fast_roaming 802_11k disable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} fragmentthreshold

無線LANの送信フレームの断片化を行うときのサイズを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} fragmentthreshold (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの送信フレームの断片化を行うときのサイズを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANの送信フレームの断片化を行うときのサイズを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANの送信フレームの断片化を行うときのサイズを設定します。
(num)		送信フレームの断片化を行うときのサイズを256～2346の範囲で入力します。 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、フレームを分割して送信します。

● デフォルトの設定

2346

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g fragmentthreshold 1999
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} gi

無線 LAN のガードインターバル (干渉を避けるための符号長の設定)を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} gi {short | long}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線 LAN のガードインターバルを設定します。
	5g	5GHz帯の無線 LAN のガードインターバルを設定します。
	6g	6GHz帯の無線 LAN のガードインターバルを設定します。
short		符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を指定した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。
long		符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。

● デフォルトの設定

short

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g gi long
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} keepalive

無線LANのキープアライブ期間を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} keepalive (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのキープアライブ期間を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのキープアライブ期間を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのキープアライブ期間を設定します。
(num)		本製品に無線機器を接続している場合、本製品が無線機器に接続されていることを確認する間隔を0～65535secの範囲で入力します。 通常はデフォルトの設定（60秒）のまま使用してください。 0に設定すると、無線機器機器への接続確認を行いません。

● デフォルトの設定

60秒

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g keepalive 300
```


wlan {2.4g | 5g | 6g} mrate

無線LANのマルチキャストレートを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} mrate (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz 帯の無線LANのマルチキャストレートを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのマルチキャストレートを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのマルチキャストレートを設定します。
(num)	マルチキャストパケットの通信速度を入力します。設定できる通信速度は次のとおりです。 1 (2.4GHzのみ)、2 (2.4GHzのみ)、5.5 (2.4GHzのみ)、6、9、11 (2.4GHzのみ)、12、18、24、36、48、54、auto 「auto」を設定すると、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。	

● デフォルトの設定

auto

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g mrate 12
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} rtsthreshold

無線LANのRTS手順を行うときのサイズを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} rtsthreshold (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのRTS手順を行うときのサイズを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのRTS手順を行うときのサイズを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのRTS手順を行うときのサイズを設定します。
(num)		RTS手順を行うときのサイズを0～デフォルトの設定値の範囲で入力します。 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、RTS/CTSを送信します。

● デフォルトの設定

2347

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g rtsthreshold 2345
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid addsecurity

無線機器接続時の追加認証について設定します。

● コマンドシンタックス

<追加認証なしの場合>

```
wlan {media} ssid addsecurity {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}
mode none
```

<MACアドレスフィルターの場合>

```
wlan {media} ssid addsecurity {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}
mode macfilter (num) allow/deny {allow | deny}
```

<MacRADIUS 認証の場合>

```
wlan {media} ssid addsecurity {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}
mode macradius {authmac | authpass (authpass)}
```

<MACフィルター & MacRADIUS 認証の場合>

```
wlan {media} ssid addsecurity {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}
mode macradius+macfilter {authmac | authpass (authpass)} filter
(num) allow/deny {allow | deny}
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの追加認証を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANの追加認証を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANの追加認証を設定します。
(ssid)		設定するSSIDのSSID名を入力します。
(ssidnum)		設定するSSIDのSSID番号を入力します。
mode		無線機器接続時の追加認証の方式を入力します。
	none	追加認証を設定しません。
	macfilter	あらかじめ無線機器のMACアドレスを本製品へ登録しておき、該当する機器のみ接続を許可／拒否します。
	macradius	MACRadius認証に対応したサーバーを使用した認証です。接続を許可する無線機器のMACアドレスをRADIUSサーバーへ登録しておき、該当する機器のみ接続を認証します。
	macradius+macfilter	「macfilter: MACアドレスフィルター」と「macfilter: MacRADIUS 認証」の両方の追加認証を行います。

filter	(num)	MACアドレスフィルターを入力します。
allow/deny	allow	MACアドレスフィルターを許可リストに設定します。
	deny	MACアドレスフィルターを拒否リストに設定します。
authmac		MACRadius 認証で使用するパスワードにMACアドレスを使用します。
authpass		MACRadius 認証で使用するパスワードを設定します。
	(authpass)	半角英数字および記号で 1 ～ 128 文字の範囲で入力します。

● デフォルトの設定

認証なし

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

<追加認証なしの場合>

```
man$ wlan 5g ssid addsecurity ssidname elecom2g01-123456 mode none
```

<MACアドレスフィルターの場合>

```
man$ wlan 2.4g ssid addsecurity ssidnum 3 mode macfilter 1 allow/deny deny
```

<MacRADIUS 認証の場合>

```
man$ wlan 5g ssid addsecurity ssidname elecom2g01-123456 mode macradius authmac
```

<MACアドレスフィルター & MacRADIUS 認証の場合>

```
man$ wlan 5g ssid addsecurity ssidname elecom2g01-123456 mode macradius+macfilter authpass 1750elecom filter 2 allow/deny deny
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid broadcastssid

SSIDブロードキャストを有効または無効にします。

● コマンドシンタックス

```
wlan {media} ssid broadcastssid {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}
{enable | disable}
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯のSSIDブロードキャストを有効または無効にします。
	5g	5GHz帯のSSIDブロードキャストを有効または無効にします。
	6g	6GHz帯のSSIDブロードキャストを有効または無効にします。
(ssid)		設定するSSID名を入力します。
(ssidnum)		設定するSSID番号を入力します。
enable		指定したSSIDを有効にします。
disable		指定したSSIDを無効にします。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4Gおよび5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g ssid broadcastssid ssidname elecom2g05-7897f1 disable
```

```
man$ wlan 5g ssid broadcastssid ssidnum 2 enable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid create

無線LANの有効SSID数を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} ssid create (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの有効SSID数を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANの有効SSID数を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANの有効SSID数を設定します。
(num)		有効にするSSIDの個数を1～16の範囲で入力します。 ※ WDS有効モードを設定した場合、WDS接続用にSSID内部で1つ使用します。そのため、最大数は15になります。 SSIDの数が多くなるほど負荷がかかり、通信速度が遅くなる場合があります。

● デフォルトの設定

1

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g ssid create 3
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid loadbalance

無線LANの最大同時接続台数を設定します。

MEMO

この設定は接続可能な最大数です。最大数を接続したときの通信状況は、接続無線機器の通信量や環境により影響されます。

● コマンドシンタックス

wlan {media} ssid loadbalance {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}limit
(num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの最大同時接続台数を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANの最大同時接続台数を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANの最大同時接続台数を設定します。
(ssid)		設定するSSIDのSSID名を入力します。
(ssidnum)		設定するSSIDのSSID番号を入力します。
(num)		最大同時接続台数を入力します。

● デフォルトの設定

WAB-BE187-M、 WAB-BE72-M	256
WAB-BE36-M	128

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M、 WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

<SSID名で指定する場合>

```
man$ wlan 2.4g ssid loadbalance ssidname elecom2g01-123456 limit 25
```

<SSID番号で指定する場合>

```
man$ wlan 5g ssid loadbalance ssidnum 3 limit 25
```


wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid privacy

同じSSIDに接続している無線機器間の通信制限を設定します。

重要

セパレーター機能は、無線機器間に対する通信制御機能です。WDSには対応していません。

● コマンドシンタックス

```
wlan {media} ssid privacy {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)} {station | ssid|disable}
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのセパレーター機能を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのセパレーター機能を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのセパレーター機能を設定します。
(ssid)		設定するSSIDのSSID名を入力します。
(ssidnum)		設定するSSIDのSSID番号を入力します。
station		現在の無線通信モードに接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。
ssid		同じ無線通信モードの同じSSIDに接続している無線機器間のみ通信を許可します。
disable		無線機器間への通信制御を行いません。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

SSID名で指定する場合

```
man$ wlan 2.4g ssid privacy ssidname elecom2g01-123456 station
```

SSID番号で指定する場合

```
man$ wlan 5g ssid privacy ssidnum 3 ssid
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid rename

無線LANのSSID名を変更します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} ssid rename {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}(newssid)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのSSID名を変更します。
	5g	5GHz帯の無線LANのSSID名を変更します。
	6g	6GHz帯の無線LANのSSID名を変更します。
(ssid)	変更するSSIDの現在のSSID名を入力します。	
(ssidnum)	変更するSSIDのSSID番号を入力します。	
(newssid)	新しく設定するSSID名を入力します。 半角英数字および半角記号で、1～32文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。	

● デフォルトの設定

2.4g	elecom2g(SSID番号)-(MACアドレスの下6桁)
5g	elecom5g(SSID番号)-(MACアドレスの下6桁)
6g	elecom6g(SSID番号)-(MACアドレスの下6桁)

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

<SSID名で指定する場合>

```
man$ wlan 2.4g ssid rename ssidname elecom2g01-123456 elecom-wlan1
```

<SSID番号で指定する場合>

```
man$ wlan 5g ssid rename ssidnum 3 elecom-wlan1
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid security

無線LANのセキュリティを設定します。

● コマンドシンタックス

<認証方式が認証なしの場合>

```
wlan {media} ssid security {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)} mode
no_auth
```

※ 6GHzは認証なしに対応していません。

<認証方式がWPA Personalの場合>

```
wlan {media} ssid security {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)} mode {
wpa2mixedpsk | wpa2psk | wpa3mixedsaes | wpa3psk} type {cipher}
period (num) keytype {passphrase | hex} key (psk)
```

※ 6GHzはwpa3pskのみ対応しています。

<認証方式がWPA Enterpriseの場合>

```
wlan {media} ssid security {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}
mode {wpa2mixedeap | wpa2eap | wpa3mixedeap | wpa3eap |
wpa3suiteb192} type {cipher} period (num)
```

※ 6GHzはwpa3eap/wpa3suiteb192のみ対応しています。

<認証方式がEnhanced Openの場合>

```
wlan {media} ssid security {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)} mode
{owe | owe_transit}
```

※ 6GHzはoweのみ対応しています。

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのセキュリティを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのセキュリティを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのセキュリティを設定します。
(ssid)		設定するSSIDのSSID名を入力します。
(ssidnum)		設定するSSIDのSSID番号を入力します。
cipher		暗号化方式を以下から指定します。
	aes	AES暗号方式で使用します。
	tkip_aes_mixed	TKIP/AES暗号方式で使用します。 (認証方式がwpa2mixedpsk/wpa2mixedeapのときに設定 できます)
num		キー更新の周期を分単位で指定 (0 ~ 9999分)します。

psk		事前共有キーを入力します。
	passphrase	8文字のパスワード
	hex	64文字の16進数

● デフォルトの設定

認証なし

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

<認証方式が認証なしの場合>

```
man$ wlan 5g ssid security ssidname elecom5g02-168801 mode no_auth
```

<認証方式がWPA2-PSK認証の場合>

```
man$ wlan 5g ssid security ssidnum 1 mode wpa2psk type aes
period 60 keytype passphrase key 12345678
```

<認証方式がWPA/WPA2-EAP認証の場合>

```
man$ wlan 2.4g ssid security ssidnum 2 mode wpamixedeap type
tkip_aes_mixed period 100
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} ssid vlan

無線LANのVLAN IDを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} ssid vlan {ssidname (ssid) | ssidnum (ssidnum)}vlanid (vlanid)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのVLAN IDを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのVLAN IDを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのVLAN IDを設定します。
(ssid)		設定するSSIDのSSID名を入力します。
(ssidnum)		設定するSSIDのSSID番号を入力します。
(vlanid)		各SSIDに1～4094までの整数値で固有のVLAN IDを入力します。

● デフォルトの設定

1

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

SSID名で指定する場合

```
man$ wlan 2.4g ssid vlan ssidname elecom2g01-123456 vlanid 99
```

SSID番号で指定する場合

```
man$ wlan 5g ssid vlan ssidnum 3 vlanid 99
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} txpower

無線LANの送信出力を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} txpower (power)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANの送信出力を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANの送信出力を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANの送信出力を設定します。
(power)	本製品が無線で送信するときの電波の出力強度 (%)を入力します。本製品の電波の届く範囲を調整することができます。 設定できる出力強度は次のとおりです。 100、90、75、50、25、10	

● デフォルトの設定

100

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g txpower 75
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} uapsd

UAPSDを有効または無効にするように無線を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} uapsd {disable | enable}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHzのUAPSDを有効または無効にします。
	5g	5GHzのUAPSDを有効または無効にします。
	6g	6GHzのUAPSDを有効または無効にします。
disable		UAPSDを無効にします。
enable		UAPSDを有効にします。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g uapsd enable
```


wlan {2.4g | 5g | 6g} wds authentication_method

WDSの認証方式を設定します。

● コマンドシンタックス

```
wlan {media} wds authentication_method {wpa3_personal | wpa2_
    wpa3_personal | wpa2_personal | wpa_wpa2_personal} enc {aes |
    tkip_aes} key (psk)
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯のWDSに対して認証方式を設定します。
	5g	5GHz帯のWDSに対して認証方式を設定します。
	6g	6GHz帯のWDSに対して認証方式を設定します。
(psk)		WDS用の事前共有キー (Pre-shared key)を入力します。

- ・6GHz帯では認証方式として「wpa3_personal」のみ選択可能です。
- ・暗号化方式「tkip_aes」は「WPA/WPA2 Personal」使用時のみ選択可能です。

● デフォルトの設定

認証方式	wpa3_personal
暗号化方式	AES
事前共有キー	空欄 (未設定)

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4Gおよび5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g wds authentication_method wpa2_wpa3_personal enc
aes key 12345678
```

wlan {2.4g | 5g | 6g} wireless_multicast_snooping

ワイヤレスマルチキャストスヌーピングの設定を行います。

● コマンドシンタックス

wlan {media} wireless_multicast_snooping {mode}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯のワイヤレスマルチキャストスヌーピングを設定します。
	5g	5GHz帯のワイヤレスマルチキャストスヌーピングを設定します。
	6g	6GHz帯のワイヤレスマルチキャストスヌーピングを設定します。
mode	disable	マルチキャストスヌーピングを有効にします。
	enable	マルチキャストスヌーピングを無効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g wireless_multicast_snooping enable
```

wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo} wds add

WDSの接続リストにMACアドレスを追加します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} wds {AP num (num) | STA} add (peeraddress)

wlan mlo wds {AP | STA} interface (interface) add (peeraddress)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯のWDS接続リストに追加します。
	5g	5GHz帯のWDS接続リストに追加します。
	6g	6GHz帯のWDS接続リストに追加します。
	mlo	MLO (Multi-Link Operation) WDSの接続リストに追加します。
AP		接続許可MACアドレスを追加します。
STA		接続先MACアドレスを追加します。
(num)		追加先の接続リスト番号を指定します。
(interface)		MLO WDS設定時に使用する帯域の組み合わせを指定します。
(peeraddress)		追加する相手先のMACアドレスを指定します。

● デフォルトの設定

なし (MACアドレスは初期状態で追加されていません)

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.4G、5G、6G、MLOをサポート ● MLO WDS設定時に使用できる帯域の組み合わせとして、2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz、2.4GHz_&_5GHz、2.4GHz_&_6GHz、5GHz_&_6GHzをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.4G、5G、MLOのみサポート ● MLO WDS設定時に使用できる帯域の組み合わせとして、2.4GHz_&_5GHzのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g wds AP num 1 add 22:33:44:55:66:66
```

```
man$ wlan mlo wds AP interface 2.4GHz_&_5GHz add 22:33:44:55:55:22
```

wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo} wds delete

WDSの設定を削除します。

● コマンドシンタックス

```
wlan {media} wds delete mode {AP | STA} {all | address (peeraddress) |
    num (num)}
```

```
wlan mlo wds delete mode {AP | STA} {all | interface (interface) | address
    (peeraddress)}
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのWDSで通信する無線親機を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのWDSで通信する無線親機を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのWDSで通信する無線親機を設定します。
	mlo	MLOのWDSで通信する無線親機を設定します。
AP		接続許可MACアドレスを削除します。
STA		接続先MACアドレスを削除します。
num		指定番号の接続リストを削除します。
(interface)		指定インターフェースのMACアドレスを削除 (MLO 専用)します。
(peeraddress)		指定したMACアドレスを削除します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.4G、5G、6G、MLOをサポート。 ● MLO WDS 設定時に使用できる帯域の組み合わせとして、2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz、2.4GHz_&_5GHz、2.4GHz_&_6GHz、5GHz_&_6GHzをサポート。
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.4G、5G、MLOをサポート。 ● MLO WDS 設定時に使用できる帯域の組み合わせとして、2.4GHz_&_5GHzをサポート。

● 入力例

5GHz WDSのAP設定の接続許可MACアドレスをすべて削除する場合

```
man$ wlan 5g wds delete mode AP all
```

5GHz WDSのSTA設定の接続先MACアドレスを削除する場合

```
man$ wlan 5g wds delete mode STA num 1
```

5GHz WDSのAP設定の接続許可MACアドレスを指定して削除する場合

```
man$ wlan 5g wds delete mode AP address 9z:8y:x7:w6:v5:u4
```

wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo} wds mode

WDSのモードを設定します。

MEMO WDSで接続する機器側もWDSを設定してください。

● コマンドシンタックス

wlan {media} wds mode {mode}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのWDSのモードを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのWDSのモードを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのWDSのモードを設定します。
	mlo	mloのWDSのモードを設定します。
mode	AP	動作モードをアクセスポイント (AP)に設定します。
	STA	動作モードをステーション (STA)に設定します。

APとSTAの両方を設定する場合は、以下の2つのコマンドを実行してください

wlan {media} wds mode AP

wlan {media} wds mode STA

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g wds mode AP
```

wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo} wds vlan_mode

WDSを使用した通信時に使用するVLANを設定します。

● コマンドシンタックス

タグ付きポートの場合

```
wlan {media} wds vlan_mode tagged
```

タグなしポートの場合

```
wlan {media} wds vlan_mode untagged vlan (vlanid)
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANのWDSで通信する無線親機を設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANのWDSで通信する無線親機を設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANのWDSで通信する無線親機を設定します。
	mlo	MLOで通信する無線親機を設定します。
tagged		WDSをタグ付きのポートとして設定します。 送受信するすべてのフレームにIEEE802.1Q準拠のVLANタグが付与されます。 受信したフレームをすべて転送することができます。
untagged		WDSをタグなしのポートとして設定します。 設定したVLAN IDのフレームのみが転送されます。
	(vlanid)	「untagged：タグなしポート」の場合に、WDS機能を使用した通信時に使用するVLAN IDを1～4094の範囲で入力します。 同じVLAN IDが設定されている機器のみと通信をすることができます。

● デフォルトの設定

VLAN モード	Untagged ポート
VLAN ID	1

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

- 入力例

<タグ付きポートの場合>

```
man$ wlan 2.4g wds vlan_mode tagged
```

<タグなしポートの場合>

```
man$ wlan 5g wds vlan_mode untagged vlan 9
```


wlan {2.4g | 5g | 6g | mlo} wds functionality

WDS機能の有効／無効を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {media} wds functionality {disable | enable}

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯のWDS機能を設定します。
	5g	5GHz帯のWDS機能を設定します。
	6g	6GHz帯のWDS機能を設定します。
	mlo	MLO (Multi-Link Operation) WDS機能を設定します。
enable		WDS機能を有効にします。
disable		WDS機能を無効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g wds functionality disable
```

```
man$ wlan 2.4g wds functionality enable
```

wlan mlo addsecurity

MLO (Multi-Link Operation)の追加認証方式を設定します。

● コマンドシンタックス

<追加認証なし>

```
wlan mlo addsecurity mode none
```

<MACアドレスフィルターリストによる認証>

```
wlan mlo addsecurity mode macfilter filter (num) allow/deny {allow | deny}
```

<MAC-RADIUS 認証>

```
wlan mlo addsecurity mode macradius {authmac | authpass (authpass)}
```

<MACアドレスフィルター + MAC-RADIUS 認証>

```
wlan mlo addsecurity mode macradius+macfilter {authmac | authpass (authpass)} filter (num) allow/deny {allow | deny}
```

● パラメーター

(num)	MACアドレスフィルターのリスト番号を指定します。
allow	フィルターを「許可リスト」として設定します。
deny	フィルターを「拒否リスト」として設定します。
(authpass)	共有シークレット（認証用パスワード）を入力します。

● デフォルトの設定

追加認証なし

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan mlo addsecurity mode macfilter filter 1 allow/deny deny
```

wlan mlo broadcast_ssid

MLO のブロードキャストSSIDを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan mlo broadcast_ssid {disable | enable}

● パラメーター

disable	MLOのSSIDブロードキャストを無効にします。
enable	MLOのSSIDブロードキャストを有効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan mlo broadcast_ssid disable
```

wlan mlo {disable | enable}

MLO (Multi-Link Operation)機能の有効／無効を設定します。

- コマンドシンタックス

wlan mlo {disable | enable}

- パラメーター

なし

- デフォルトの設定

無効

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan mlo enable
```

wlan mlo interface_select authentication_method

MLOのWDS暗号化方式を変更します。

● コマンドシンタックス

```
wlan mlo interface_select {interface} authentication_method {auth} type {cipher} period {num} [keytype passphrase key (psk)]
```

● パラメーター

なし

interface	2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz	インターフェースを2.4GHz / 5GHz / 6GHzに設定します。	
	2.4GHz_&_5GHz	インターフェースを2.4GHz / 5GHzに設定します。	
	2.4GHz_&_6GHz	インターフェースを2.4GHz / 6GHzに設定します。	
	5GHz_&_6GHz	インターフェースを5GHz / 6GHzに設定します。	
auth		wpa3psk	認証方式をWPA3 Personalに設定します。
		wpa3eap	認証方式をWPA3 Enterpriseに設定します。
		wpa3suiteb192	認証方式をWPA3 Enterprise 192bitに設定します。
		製品が WAB-BE187-M で、インターフェースに「2.4GHz_&_5GHz」を選択した場合は、以下も選択可能です。	
		wpa2psk	認証方式をWPA2 Personalに設定します。
		wpamixedpsk	認証方式をWPA/WPA2 Personalに設定します。
		wpa2mixedpsk	認証方式をWPA2/WPA3 Personalに設定します。
		wpa2eap	認証方式をWPA2 Enterpriseに設定します。
		wpamixedeap	認証方式をWPA/WPA2 Enterpriseに設定します。
		wpa2mixedeap	認証方式をWPA2/WPA3 Enterpriseに設定します。

cipher	aes	MLO環境で使用するWDSの暗号化方式をAESに設定します。
	tkip_aes_mixed	MLO環境で使用するWDSの暗号化方式をTKIP/AESに設定します。 (認証方式がwpa-mixedpsk / wpa-mixedeapのときに設定できます)
num		鍵の更新周期を分単位で指定します。(0 ~ 9999 分)
keytype	passphrase	8文字のパスフレーズを入力します。
	hex	64文字の16進キーを入力します。
	(psk)	WDS用の事前共有鍵 (Pre-Shared Key)を入力します。

● デフォルトの設定

インターフェース選択	2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz
認証方式	wpa3psk
Pre-shared Key	空白 (未設定)

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz、2.4GHz_&_5GHz、 2.4GHz_&_6GHz、5GHz_&_6GHzをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4GHz_&_5GHz のみサポート

● 入力例

```
man$ wlan mlo interface_select 2.4GHz_&_5GHz authentication_
method wpa3psk type aes period 20 keytype passphrase key
123456789
```

wlan mlo load_balancing

MLO (Multi-Link Operation)の最大同時接続台数を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan mlo load_balancing (loadbalancing)

● パラメーター

(loadbalancing)	最大同時接続台数を設定します (数値を指定)。
-----------------	-------------------------

● デフォルトの設定

WAB-BE187-M, WAB-BE72-M,	256
WAB-BE36-M	128

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

man\$ wlan mlo load_balancing 100

wlan mlo ssid

MLO (Multi-Link Operation)のSSIDを設定します。

- コマンドシンタックス

wlan mlo ssid (ssid)

- パラメーター

(ssid)	MLOのSSIDを設定します。
--------	-----------------

- デフォルトの設定

elecom-mlo (+MACアドレスの下6桁)

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan mlo ssid elecom-mlo789608
```


wlan mlo vlan

MLOのVLAN IDを設定します。

- コマンドシンタックス

wlan mlo vlan (vlan)

- パラメーター

(vlan)	VLAN ID を設定します (1 ~ 4094)
--------	---------------------------

- デフォルトの設定

1

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan mlo vlan 2
```

wlan mlo wds interface_select

MLO の WDS 暗号化方式を変更します。

● コマンドシンタックス

```
wlan mlo wds interface_select (interface) authentication_method wpa3_
personal enc aes key (psk)
```

● パラメーター

interface	2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz	インターフェースを2.4GHz / 5GHz / 6GHzに設定します。
	2.4GHz_&_5GHz	インターフェースを2.4GHz / 5GHzに設定します。
	2.4GHz_&_6GHz	インターフェースを2.4GHz / 6GHzに設定します。
	5GHz_&_6GHz	インターフェースを5GHz / 6GHzに設定します。
(psk)		WDSの事前共有鍵 (Pre-shared key)を入力します。

● デフォルトの設定

WAB-BE187-M	interface: 2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz、 psk: 未設定 (空白)
WAB-BE72-M、 WAB-BE36-M	interface: 2.4GHz_&_5GHz、 psk: 未設定 (空白)

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4GHz_&_5GHz_&_6GHz、2.4GHz_&_5GHz、 2.4GHz_&_6GHz、5GHz_&_6GHzをサポート。
WAB-BE72-M、 WAB-BE36-M	2.4GHz_&_5GHzのみサポート。

● 入力例

```
man$ wlan mlo wds interface_select 2.4GHz_&_6GHz authentication_
method wpa3_personal enc aes key 123456789
```

wlan mlo wireless_client_isolation

MLO (Multi-Link Operation)におけるセパレーター機能（無線機器間の通信制限）を設定します。

● コマンドシンタックス

wlan mlo wireless_client_isolation {Disable | SSID_separator | STA_separator}

● パラメーター

Disable	無線機器間への通信制御を行いません。
SSID_separator	異なるSSID間での通信を禁止します。
STA_separator	接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan mlo wireless_client_isolation SSID_separator
```

wlan 2.4g band

2.4GHz 無線の動作モードと基本レートセット (Basic Rate Set)を設定し、無線チャネルを構成します。

● コマンドシンタックス

```
wlan 2.4g band 11b brs {2m | all} channel {ch} bandwidth 20m
wlan 2.4g band 11b brs {2m | all} channel {autoch} bandwidth 20m
wlan 2.4g band {11g | 11b11g} brs {brs} channel {ch} bandwidth 20m
wlan 2.4g band {11g | 11b11g} brs {brs} channel {autoch} bandwidth 20m
wlan 2.4g band {11g11n | 11b11g11n | 11b11g11n11ax |
    11b11g11n11ax11be} brs {brs} channel {ch} bandwidth {width}
wlan 2.4g band {11g11n | 11b11g11n | 11b11g11n11ax |
    11b11g11n11ax11be} brs {brs} channel {autoch} bandwidth
    {autowidth}
```

● パラメーター

brs	基本レートセットを以下から設定します。
2m	1 / 2Mbps
11m	1 / 2 / 5.5 / 11Mbps
24m	1 / 2 / 5.5 / 6 / 11 / 12 / 24Mbps
all	現在のバンドがサポートする全レートを設定します。
ch	2.4GHzのチャネルを設定します。 設定可能値: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
autoch	2.4GHzの自動チャネルを設定します。 設定可能値: auto_1-11ch, auto_1-13ch
width	2.4GHzの無線帯域幅を以下から設定します。
20m	20MHz 通常モード
40m+ex_upper_ch	40MHz 通常モード + 上側チャネル拡張 設定可能値: 1 ~ 9
40m+ex_lowwer_ch	40MHz 通常モード + 下側チャネル拡張 設定可能値: 5 ~ 13
auto+ex_upper_ch	自動モード + 上側チャネル拡張 設定可能値: 1 ~ 9
auto+ex_lowwer_ch	自動モード + 下側チャネル拡張 設定可能値: 5 ~ 13

autowidth	2.4Ghzのチャンネル幅を以下から設定します。
20m	20MHz 通常モード
40m	40MHz 通常モード
auto	自動モード

● デフォルトの設定

モード	11b11g11n11ax11be
基本レートセット	all
チャンネル	11
バンド幅	auto+ex_lowwer_ch

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g band 11b brs 2m channel 6 bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 2.4g band 11b11g brs 24m channel 13 bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 2.4g band 11b11g brs 11m channel auto_1-11ch bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 2.4g band 11b11g11n brs all channel 10 bandwidth 40m+ex_lowwer_ch
```

```
man$ wlan 2.4g band 11g11n brs 24m channel auto_1-13ch bandwidth auto
```

wlan 2.4g conslot

2.4GHz帯の無線LANのコンテンションスロットを設定します。

● コマンドシNTAXス

wlan 2.4g conslot {mode}

● パラメーター

mode	short	コンテンションスロットをShortに設定します。 本製品と、接続する無線機器のコンテンションスロットの設定を同じ「Short」に設定すると、通信速度が向上する場合があります。 接続する無線機器が「Short」に対応していない場合は、接続ができないことがあります。
	long	コンテンションスロットをLongに設定します。

● デフォルトの設定

short

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g conslot long
```

wlan 2.4g preamble

2.4GHz帯の無線LANのプリアンブルタイプを設定します。

● コマンドシンタックス

wlan 2.4g preamble {mode}

● パラメーター

mode	short	プリアンブルタイプをShortに設定します。 本製品と、接続する無線機器のプリアンブルタイプの設定を同じ「Short」に設定すると、通信速度が向上する場合があります。 接続する無線機器が「Short」に対応していない場合は、接続ができないことがあります。 接続する無線機器のプリアンブルタイプを同じ設定にしてください。
	long	プリアンブルタイプをLongに設定します。

● デフォルトの設定

short

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan 2.4g preamble long
```

wlan 5g band

5GHzの無線の動作モードと基本レートセットを設定し、無線チャンネルを構成します。

● コマンドシンタックス

```
wlan 5g band 11a brs {brs} channel {ch} bandwidth 20m
```

```
wlan 5g band 11a brs {brs} channel {auto-ch} bandwidth 20m
```

```
wlan 5g band {11a11n | 11a11n11ac | 11a11n11ac11ax |  
11a11n11ac11ax11be} brs {brs} channel {ch} bandwidth {width}
```

```
wlan 5g band {11a11n | 11a11n11ac | 11a11n11ac11ax |  
11a11n11ac11ax11be} brs {brs} channel {auto-ch} bandwidth  
{autowidth}
```

● パラメーター

brs	基本レートセットを以下から設定します。
24m	6 / 12 / 24 Mbps
all	現在のバンドがサポートする全レートを設定します。
ch	5GHzのチャンネルを設定します。 設定可能値：36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144 ※チャンネル36～128を選択した場合、帯域幅 auto_160/80/40/20MHzの通常モードを設定可能
autoch	5GHzの自動チャンネルを設定 設定可能値：w52, w52+w53, w52+w53+w56 ※ w52+w53 または w52+w53+w56 を選択した場合、帯域幅 auto_160/80/40/20MHz の通常モードを設定可能
width	5GHzの無線帯域幅を以下から設定します。
20m	20MHz通常モード
auto_40_20m	自動40/20MHz通常モード
auto_80_40_20m	自動80/40/20MHz通常モード
auto_160_80_40_20m	自動160/80/40/20MHz通常モード（チャンネル36～128を選択した場合）
autowidth	5Ghzのチャンネル幅を以下から設定します。
20m	20MHz 通常モード
auto_40_20m	自動 40/20MHz 通常モード
auto_80_40_20m	自動 80/40/20MHz 通常モード

auto_160_80_40_20m	自動 160/80/40/20MHz 通常モード (w52+w53 または w52+w53+w56 を選択した場合)
--------------------	--

● デフォルトの設定

モード	11a11n11ac11ax11be
基本レートセット	all
チャンネル	ch36
バンド幅	auto 160/80/40/20MHz

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan 5g band 11a brs all channel 40 bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 5g band 11a brs all channel w52+w53 bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 36 bandwidth  
auto_40_20m
```

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel 140 bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 5g band 11a11n brs 24m channel w52+w53+w56 bandwidth  
auto_40_20m
```

```
man$ wlan 5g band 11a11n11ac brs 24m channel 44 bandwidth  
auto_80_40_20m
```

wlan 6g band

6GHzの無線の動作モードと基本レートセットを設定し、無線チャンネルを構成します。

● コマンドシンタックス

```
wlan 6g band {11ax | 11ax11be} brs {brs} channel {ch | autoch}
bandwidth {width}
```

● パラメーター

brs	基本レートセットを以下から設定します。
24m	6 / 12 / 24 Mbps
all	現在のバンドがサポートする全レートを設定します。
ch	6GHzの無線チャンネルを設定します。 設定可能値: 1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33, 37, 41, 45, 49, 53, 57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93
autoch	6GHzの自動チャンネルを設定 設定可能値: auto_1-93ch
width	6GHzの無線帯域幅を以下から設定します。
20m	20MHz 通常モード
auto_40_20m	自動 40/20MHz 通常モード
auto_80_40_20m	自動 80/40/20MHz 通常モード
auto_160_80_40_20m	自動 160/80/40/20MHz 通常モード (チャンネル 36 ~ 128 を選択した場合)
auto_320_160_80_40_20m	自動 320/160/80/40/20MHz 通常モード (11ax/11be を選択した場合)

● デフォルトの設定

モード	11ax11be
基本レートセット	all
チャンネル	1
バンド幅	auto_320_160_80_40_20m

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M

● 入力例

```
man$ wlan 6g band 11ax brs all channel 9 bandwidth 20m
```

```
man$ wlan 6g band 11ax11be brs 24m channel 13 bandwidth 80m
```

wlan {5g | 6g} beamforming

ビームフォーミング機能を有効または無効に設定します。

● コマンドシンタックス

wlan {5g | 6g} beamforming {state}

● パラメーター

state	disable	ビームフォーミング機能を無効にします。
	enable	ビームフォーミング機能を有効にします。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan 5g beamforming enable
```

wlan emergency_mode {disable | enable}

災害モードを有効または無効にします。

● コマンドシンタックス

```
wlan emergency_mode {disable | enable {No_Restriction | web_mail}}
```

```
wlan emergency_mode port {availableport} {portstate}
```

● パラメーター

disable		災害モードを無効にします。
enable		災害モードを有効にします。
No_Restriction		通信制限を行いません。
web_mail		Web・メールのみを利用可能にします。
availableport		利用可能なポートを編集します。設定値は次の通りです。 HTTP, HTTPS, HTTP_PROXY, SMTP, POP3, IMAP, SMTPS, POP3S, IMAPS, Submission
portstate	disable	ポートを無効にします。
	enable	ポートを有効にします。

● デフォルトの設定

災害モード	無効
利用可能ポート	制限なし

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan emergency_mode enable No_Restriction
```

```
man$ wlan emergency_mode port HTTP disable
```

wlan guest_network admin_mac

ゲストネットワークから設定ユーティリティへアクセス可能な管理者のMACアドレスを登録します。

● コマンドシンタックス

wlan guest_network admin_mac (macaddress)

● パラメーター

(macaddress)	リストに登録するMACアドレスを入力します。 MACアドレスの形式は以下のいずれかで入力します。 XXXXXXXXXXXX (区切りなし) XX:XX:XX:XX:XX:XX (コロン区切り) XX-XX-XX-XX-XX-XX (ハイフン区切り)
--------------	--

● デフォルトの設定

ありません。

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network admin_mac 00:22:33:44:55:66
```

wlan guest_network auth_type

ゲストネットワークの認証方式を設定します。

● コマンドシンタックス

```
wlan guest_network auth_type {disable | screen | email sender (email_address) smtp (smtp_address) port (port)}
```

● パラメーター

disable	認証をおこないません。
screen	ブラウザ画面でゲストネットワークに認証します。
email	電子メールでゲストネットワークに認証します。
(email_address)	送信元メールアドレスを入力します。
(smtp_address)	SMTP サーバーアドレスを入力します。
(port)	SMTP サーバーポートを入力します。

● デフォルトの設定

認証タイプ	なし
Eメールアドレス	(空白)
SMTP アドレス	(空白)
ポート	0

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network auth_type disable
```

```
man$ wlan guest_network auth_type email sender elecom@yahoo.co.jp smtp smtp.mail.yahoo.co.jp port 25
```

wlan guest_network auth_type auth

SMTP サーバーの認証タイプを設定します。

● コマンドシンタックス

```
wlan guest_network auth_type auth disable
```

```
wlan guest_network auth_type auth {ssl | tls} account (username)
password (password)
```

● パラメーター

state	disable	認証をおこないません。
	ssl	SSL によって SMTP サーバーに認証します。
	tls	TLS によって SMTP サーバーに認証します。
(username)		SMTP サーバーのアカウントを入力します。
(password)		SMTP サーバーのパスワードを入力します。

● デフォルトの設定

認証しない

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network auth_type auth disable
```

```
man$ wlan guest_network auth_type auth ssl account elecom@yahoo.
co.jp password elecom1234
```


wlan guest_network connectable_time

ゲストネットワークに接続できる時間を設定します。

MEMO

この機能は認証タイプが「認証画面」または「E-MAIL 認証」のときに利用可能です。

● コマンドシンタックス

```
wlan guest_network connectable_time (connectable_time) restriction_time (restriction_time) connectable_frequency (connectable_frequency)
```

● パラメーター

(connectable_time)	ゲストの接続可能時間を入力してください。(1 ～ 24時間) ゲストネットワークに接続できる時間を設定します。
(restriction_time)	ゲストネットワークへ接続できない時間を設定します。1 ～ 24時間)
(connectable_frequency)	「接続制限時間」内に複数回の接続を許可することも可能です。 「ゲスト接続可能時間」経過後、接続可能回数の範囲内であれば、再度接続が可能になります。 「ゲスト接続時間」×「接続可能回数」が、「接続制限時間」以下になるように、時間・回数を設定してください。

● デフォルトの設定

ゲスト接続可能時間	6時間
接続制限時間	12時間
接続可能回数	2回

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network connectable_time 3 restriction_time 10 connectable_frequency 3
```

wlan guest_network {disable | enable}

ゲストネットワーク機能を有効または無効にします。

● コマンドシンタックス

wlan guest_network {state}

● パラメーター

state	disable	ゲストネットワーク機能を無効にします。
	enable	ゲストネットワーク機能を有効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network disable
```

wlan guest_network guest_ap_name

ゲストネットワークの認証画面、認証用メールに記載されるアクセスポイントの名称を設定します。

MEMO

この機能は「認証用タイプ」に「認証画面」「E-MAIL 認証」を選択しているときのみ利用可能です。

● コマンドシンタックス

wlan guest_network guest_ap_name (guest_ap_name)

● パラメーター

(guest_ap_name)	認証画面、認証用メールに記載されるアクセスポイントの名称を設定します。
-----------------	-------------------------------------

● デフォルトの設定

システム情報画面の「製品名」の名称

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network guest_ap_name ap_name
```

wlan guest_network show status

ゲストネットワークの設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

wlan guest_network show status

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

- 入力例

```
man$ guest_network show status
```

wlan guest_network traffic_shap

ゲストネットワークのトラフィックシェーピングを有効または無効にします。

● コマンドシンタックス

wlan guest_network traffic_shap {disable | enable rate (rate)}

● パラメーター

state	disable	トラフィックシェーピングを無効にします。
	enable	トラフィックシェーピングを有効にします。
(rate)		トラフィックシェーピングのレートを入力します。 (100 ~ 43000 kbps)

● デフォルトの設定

traffic shaping	無効
rate	100

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan guest_network traffic_shap disable
```

```
man$ wlan guest_network traffic_shap enable rate 1000
```

wlan guest_network wlan

ゲストネットワークの無線情報とDHCPを設定します。

● コマンドシンタックス

```
wlan guest_network wlan {media} ssid {ssidname (ssid) | ssidnum
(ssidnum)} ip (ipaddress) subnet_mask (maskaddress) lease_time
{time} start_ip (start_ipaddress) end_ip (end_ipaddress)
```

● パラメーター

media	2.4g	ゲストネットワークに使用する無線LANの帯域を「2.4GHz」に設定します。
	5g	ゲストネットワークに使用する無線LANの帯域を「5GHz」に設定します。
	6g	ゲストネットワークに使用する無線LANの帯域を「6GHz」に設定します。
ssidname (ssid) ssidnum (ssidnum)		ゲストネットワークのSSID、またはゲストネットワークに使用するSSIDの番号を入力します。
(ipaddress)		ゲストネットワークで適用するDHCPサーバーのIPアドレスを入力します。
(maskaddress)		ゲストネットワークで適用するDHCPサーバーのサブネットマスクを入力します。
time	ゲストネットワークで適用するDHCPサーバーから割り振られるIPアドレスのリース期間を設定します。	
	half_hr	IPアドレスのリース期間を「30分」に設定します。
	one_hr	IPアドレスのリース期間を「1時間」に設定します。
	two_hrs	IPアドレスのリース期間を「2時間」に設定します。
	half_day	IPアドレスのリース期間を「12時間」に設定します。
	one_day	IPアドレスのリース期間を「1日」に設定します。
	two_days	IPアドレスのリース期間を「2日」に設定します。
	one_week	IPアドレスのリース期間を「1週間」に設定します。
	two_weeks	IPアドレスのリース期間を「2週間」に設定します。
	forever	IPアドレスのリース期間を「無期限」に設定します。
(start_ipaddress)		ゲストネットワークに接続する無線機器に割り当てるIPアドレスの開始IPアドレスを入力します。
(end_ipaddress)		ゲストネットワークに接続する無線機器に割り当てるIPアドレスの終了IPアドレスを入力します。

● デフォルトの設定

無線帯域	2.4GHz
SSID 名	elecom2g01-XXXXXX (XXXXXXは 2.4GHz 機器の MAC アドレスの下 6 桁が表示されます。)
SSID 番号	1
DHCPリース期間	2時間
DHCP IP アドレス	192.168.169.1
DHCP サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP 開始 IP アドレス	192.168.169.100
DHCP 終了 IP アドレス	192.168.169.200

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6Gをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5Gのみサポート

● 入力例

```
man$ wlan guest_network wlan 2.4g ssid ssidname
elecom2g01-168800 ip 192.168.4.1 subnet_mask 255.255.255.0
lease_time two_days start_ip 192.168.4.100 end_ip 192.168.4.200
man$ wlan guest_network wlan 5g ssid ssidnum 1 ip 192.168.1.1
subnet_mask 255.255.255.0 lease_time forever start_ip
192.168.1.20 end_ip 192.168.1.100
```

wlan maclist add

MAC アドレスをフィルターリストに追加します。

● コマンドシンタックス

wlan maclist add filters_num (num) (macaddress)

● パラメーター

(num)	MAC アドレスを追加するリスト番号を入力します。
(macaddress)	リストに追加するMAC アドレスを以下の形式で入力します。 XXXXXXXXXXXX (区切りなし) XX:XX:XX:XX:XX:XX (コロン区切り) XX-XX-XX-XX-XX-XX (ハイフン区切り)

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	最大48件のMACアドレスフィルターに対応
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	最大32件のMACアドレスフィルターに対応

● 入力例

```
man$ maclist add filters_num 1 12:22:33:44:55:66
```

```
man$ maclist add filters_num 5 12:22:33:44:55:67
```


wlan maclist delete

MAC アドレス制限リストの登録を削除します。

● コマンドシンタックス

```
wlan maclist delete filters_num (num) {all | address (macaddress) | num
(list-number)} [force]
```

● パラメーター

(num)	削除対象のフィルター番号を指定します。
(macaddress)	リストから削除するMAC アドレスを以下の形式で入力します。 XXXXXXXXXXXX (区切りなし) XX:XX:XX:XX:XX:XX (コロン区切り) XX-XX-XX-XX-XX-XX (ハイフン区切り)
(list-number)	MAC アドレスリストの中で削除する番号を指定します。
force	削除を強制実行します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	最大 48 件の MAC アドレスフィルターに対応
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	最大 32 件の MAC アドレスフィルターに対応

● 入力例

```
man$ wlan maclist delete filters_num 2 all
```

```
man$ maclist delete filters_num 1 address 12:22:33:44:55:67
force
```

```
man$ maclist delete filters_num 3 num 1 force
```

wlan maclist edit

MAC アドレスフィルターの名前を編集します。

● コマンドシンタックス

wlan maclist edit filters_num (num) name (name)

● パラメーター

(num)	編集するフィルター番号を指定します。
(name)	新しいリスト名を指定します。

● デフォルトの設定

フィルター名	(フィルターリスト番号)
--------	--------------

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	最大 48 件の MAC アドレスフィルターに対応
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	最大 32 件の MAC アドレスフィルターに対応

● 入力例

```
man$ wlan maclist edit filters_num 1 name elecom
```

wlan maclist show status

MACアドレスフィルタリングテーブルの設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

wlan maclist show status

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M	最大48件のMACアドレスフィルターに対応
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	最大32件のMACアドレスフィルターに対応

- 入力例

```
man$ wlan maclist show status
```

wlan neighbor add

無線モニター用のネイバーリストに MAC アドレスを追加します。

● コマンドシンタックス

wlan neighbor add (mac_address)

● パラメーター

(macaddress)	リストに登録するMACアドレスを入力します。 MACアドレスの形式は以下のいずれかで入力します。 XXXXXXXXXXXX (区切りなし) XX:XX:XX:XX:XX:XX (コロン区切り) XX-XX-XX-XX-XX-XX (ハイフン区切り)
--------------	--

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan neighbor add 00AABBCCDDEE
```

wlan neighbor delete

無線モニター用のネイバーリストから MAC アドレスを削除します。

● コマンドシンタックス

```
wlan neighbor delete {all | address (macaddress) | num (list-number)}  
[force]
```

● パラメーター

all	リスト内のすべての MAC アドレスを削除します。
address	指定した MAC アドレスをリストから削除します。
num	リスト番号の MAC アドレスを削除します。
(macaddress)	リストに登録するMACアドレスを入力します。 MACアドレスの形式は以下のいずれかで入力します。 XXXXXXXXXXXX (区切りなし) XX:XX:XX:XX:XX:XX (コロン区切り) XX-XX-XX-XX-XX-XX (ハイフン区切り)
(list-number)	削除する MAC アドレスのリスト番号を指定します。
force	削除を強制実行します。

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan neighbor delete all
```

```
man$ wlan neighbor delete address 00AABBCCDDEE force
```

```
man$ wlan neighbor delete num 1 force
```

wlan wmm {ap | sta}

WMMパラメーターを設定します。

重要

通常は変更する必要がありません。設定を変更する場合は、よくご理解の上変更してください。

● コマンドシンタックス

wlan wmm {ap | sta} {parameter} bk (bk) be (be) vi (vi) vo (vo)

● パラメーター

ap	本製品のWMMパラメーターを設定します。	
sta	無線機器のWMMパラメーターを設定します。	
parameter	aifsn	フレーム送信間隔を1～15の範囲で入力します。 間隔が短いとキューの優先度が上がります。
	cwmax	コンテンションウィンドウの最大値 (CWMax)、最小値 (CWMin) を1～32767の範囲で入力します。
	cwmain	設定値は、CWMax > CWMin とします。 コンテンションウィンドウ値が小さいと、そのキューが送信権を得る確率が高くなり、優先度も高くなります。
	txop	送信権を得たキューの転送占有時間を0～65535の範囲で入力します。長く設定すると、フレームの転送量は増えますが、リアルタイム性が損なわれます。単位は32msです。
(bk)	バックグラウンドの通信の設定値を入力します。	
(be)	ベストエフォートの通信の設定値を入力します。	
(vi)	ビデオの通信の設定値を入力します。	
(vo)	音楽の通信の設定値を入力します。	

● デフォルトの設定

無線APのWMMパラメーター（本製品）とWMMパラメーター（無線機器）の初期値は、次のとおりです。

<WMMパラメーター（本製品）の初期値>

	CWMin	CWMax	AIFSN	TxOP
Back Ground	4	10	7	0
Best Effort	4	6	3	0
Video	3	4	1	94
Voice	2	3	1	47

<WMMパラメーター（無線機器）の初期値>

	CWMin	CWMax	AIFSN	TxOP
Back Ground	4	10	7	0
Best Effort	4	10	3	0
Video	3	4	2	94
Voice	2	3	2	47

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

<本製品のWMMパラメーターを設定する場合>

```
man$ wlan wmm ap aifsn bk 10 be 10 vi 10 vo 10
```

<無線機器のWMMパラメーターを設定する場合>

```
man$ wlan wmm sta txop bk 0 be 0 vi 1000 vo 1000
```

wlan wmm qos

QoS 機能について設定します。

本製品と無線機器の間での通信で、特定の通信にのみ優先順位を設定します。

リアルタイム性が要求されるビデオや音声などの各種ストリーミングで、安定した通信を行うことができます。

重要

本製品の QoS 機能を使用する場合は、ネットワーク内の他の機器も同一構成および設定の QoS 機能を使用することを推奨します。

● コマンドシンタックス

wlan wmm qos {disable | enable}

● パラメーター

disable	QoS 機能を無効にします。 本製品と無線機器の間での通信について、優先制御を行わず、入力順にすべてのフレームが処理されます。
enable	QoS 機能を有効にします。 WMMEDCA 設定を元に通信の制御を行います。QoS 機能を有効にするためには、本製品と無線機器の両方で QoS を有効に設定してください。

● デフォルトの設定

有効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan wmm qos enable
```


wlan wmm show status

WMMパラメーターの設定情報を表示します。

- コマンドシンタックス

wlan wmm show status

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan wmm show status
```

wlan wps create pincode

新しいPINコードを発行します。

- コマンドシンタックス

wlan wps create pincode

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ランダムな8桁の数字

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan wps create pincode
```

wlan wps {disable | enable}

WPS (WiFiProtected Setup)機能について設定します。

● コマンドシンタックス

wlan wps {state}

● パラメーター

state	disable	WPS機能を無効にします。
	enable	WPS機能を有効にします。

● デフォルトの設定

無効

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

● 入力例

```
man$ wlan wps disable
```

wlan wps release

WPS セキュリティを解除します。

- コマンドシンタックス

wlan wps release

- パラメーター

ありません。

- デフォルトの設定

ありません。

- コマンドモード

即時モード、編集モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan wps release
```

wlan wps show status

WPS 設定および WPS セキュリティを表示します。

- コマンドシンタックス

wlan wps show status

- パラメーター

ありません。

- デフォルトの設定

ありません。

- コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wlan wps show status
```

wlan wps start enrollee pincode

接続する無線子機のPINコードを設定します。

- コマンドシンタックス

wlan wps start enrollee pincode (pincode)

- パラメーター

(pincode)	接続する無線子機のPINコードを0～99999999の範囲で入力します。
-----------	--------------------------------------

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

man\$ wlan wps start enrollee pincode 12345678
--

wlan wps start push_button

WPS ボタンを使用した WPS 接続を開始します。

- コマンドシンタックス

wlan wps start push_button

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ wps start push_button
```

RADIUS コマンド

無線機器の認証などで使用するRADIUS サーバーを設定するコマンドです。
2.4GHz 帯、5GHz 帯、6GHz 帯、MLO で各 2 台（プライマリ、セカンダリ）の RADIUS サーバーを登録できます。セカンダリの RADIUS サーバーは、プライマリのサーバーの障害時に自動的に切り替えて使用されます。

radius {2.4g | 5g | 6g | mlo} {primary | secondary} enable server

認証に使用する RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。

● コマンドシンタックス

```
radius {media} {primary | secondary} enable server (server_ip) secret (secret) authport (port)
```

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz 帯の無線 LAN で利用する RADIUS サーバーを設定します。
	5g	5GHz 帯の無線 LAN で利用する RADIUS サーバーを設定します。
	6g	6GHz 帯の無線 LAN で利用する RADIUS サーバーを設定します。
	mlo	MLO で利用する RADIUS サーバーを設定します。
primary		プライマリサーバーを設定します。
secondary		セカンダリサーバーを設定します。
(server_ip)		RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
(secret)		RADIUS サーバーとの共有シークレットを設定します。
(port)		RADIUS 認証に使用する UDP ポートを指定します。(1 ~ 65535)

● デフォルトの設定

プライマリポート	1812
セカンダリポート	1812

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLO をサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLO のみサポート

- 入力例

```
man$ radius 2.4g primary enable server 192.168.11.123 secret  
12345678 authport 1813
```

radius {2.4g | 5g | 6g | mlo} {primary | secondary} session_time

無線機器とのセッション時間を設定します。

● コマンドシンタックス

radius {media} {primary | secondary} session_time (num)

● パラメーター

media	2.4g	2.4GHz帯の無線LANで利用するRADIUSサーバーを設定します。
	5g	5GHz帯の無線LANで利用するRADIUSサーバーを設定します。
	6g	6GHz帯の無線LANで利用するRADIUSサーバーを設定します。
	mlo	MLOで利用するRADIUSサーバーを設定します。
primary		プライマリサーバーを設定します。
secondary		セカンダリサーバーを設定します。
(num)		RADIUSサーバーのセッション時間を設定します。(0 ~ 86400 秒) 設定値が0の場合、セッションタイムアウトはありません。 RADIUSサーバー側のセッションタイムアウト設定が、本製品の設定よりも優先されます。

● デフォルトの設定

3600 秒

● コマンドモード

即時モード、編集モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

● 入力例

<5GHz帯側のプライマリサーバーのセッション時間を設定する場合>

```
man$ radius 5g primary session_time 0
```

<2.4GHz帯側のセカンダリサーバーのセッション時間を設定する場合>

```
man$ radius 2.4g secondary session_time 86400
```

radius show status

RADIUS サーバーの設定情報を表示します。

● コマンドシンタックス

radius show status

● パラメーター

ありません

● デフォルトの設定

ありません

● コマンドモード

即時モード、編集モード、参照モード

● 対応製品

WAB-BE187-M	2.4G、5G、6G、MLOをサポート
WAB-BE72-M, WAB-BE36-M	2.4G、5G、MLOのみサポート

● 入力例

man\$ radius show status

EXIT コマンド

exit

コマンドラインインターフェースを終了します。

- コマンドシンタックス

exit

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ exit
```

QUIT コマンド

quit

コマンドラインインターフェースを終了します。

- コマンドシンタックス

quit

- パラメーター

ありません

- デフォルトの設定

ありません

- コマンドモード

即時モード

- 対応製品

WAB-BE187-M、WAB-BE72-M、WAB-BE36-M

- 入力例

```
man$ quit
```

付録編

索引	183
----	-----

● CONFIG コマンド

実行内容	コマンド	ページ
本体名称を設定	config apname	37
設定情報の表示	config basic_info show status	38
ブザー鳴動時間設定	config buzzer time	39
ファームウェアアップデートの実行	config firmware	41
初期化の実行	config init	43
LED 設定	config led_setting	44
設定インターフェースの設定	config management	45
NTP タイムサーバー設定	config ntp client	47
節電設定 有効 / 無効	config power_saving	50
節電設定 スケジュール追加	config power_saving schedule add	52
節電設定 スケジュール削除	config power_saving schedule delete	54
再起動	config reboot	55
設定ファイルの復元	config restore	56
設定ファイルの保存	config save	58
syslog プロトコルによるログ情報 転送機能の設定	config syslog client	60
タイムゾーン設定	config timezone	62
管理者名、管理者パスワード設定	config username	65

● LAN コマンド

実行内容	コマンド	ページ
IEEE802.3az 機能の設定	lan ether port {pd pse} 8023az	66
Ether ポート 設定の有効 / 無効	lan ether port {pd pse} link	67
Ether ポート VLAN 設定	lan ether port {pd pse} vlan mode	70
Ether ポート 設定情報表示	lan ether show status	72
デフォルトゲートウェイ設定	lan ip defaultgw	73
DHCP 設定	lan ip dhcp	74
DNS サーバー設定	lan ip dns	75

実行内容	コマンド	ページ
固定 IP アドレス設定	lan ip static	77
管理用 VLAN ID 設定	lan ip vlan	78

● SHOW STATUS コマンド

実行内容	コマンド	ページ
管理者設定情報の表示	show status config admin	79
I'm here 持続時間設定情報の表示	show status config buzzer	
日時設定の表示	show status config date&time	
LED 設定情報の表示	show status config led_settings	
節電設定情報の表示	show status config power_saving	
syslog サーバー設定情報の表示	show status config syslog_server	
有線 LAN ポートの IP アドレス設定表示	show status lan ip	81
有線 LAN ポートの設定情報表示	show status lan ether	
RADIUS サーバー設定情報の表示	show status radius	82
システム情報一覧表示	show status system_info	83
無線 LAN の基本設定情報・詳細設定情報の表示	show status wlan {2.4g 5g 6g}	84
災害モード設定情報の表示	show status wlan emergency_mode	86
MAC アドレスフィルタリングテーブルの設定	show status wlan maclist	88
周囲のアクセスポイントを表示	show status wlan monitor	89
WMM 設定情報を表示	show status wlan wmm	90

● WLAN コマンド

実行内容	コマンド	ページ
802.11n または 802.11g のプロテクション設定	wlan {2.4g 5g} 80211n_protect	92
アグリゲーションの有効 / 無効設定	wlan {2.4g 5g 6g} aggregation	93
平等通信機能設定	wlan {2.4g 5g 6g} airtimefairness	94
DTIM 送信間隔設定	wlan {2.4g 5g 6g} beacon dtim	96
ビーコンフレーム送信間隔設定	wlan {2.4g 5g 6g} beacon interval	97

実行内容	コマンド	ページ
無線子機接続中のチャンネル変更設定	wlan {2.4g 5g 6g} channel change_ch_if_STA_connected	98
オートチャンネル間隔設定	wlan {2.4g 5g 6g} channel interval	99
無線機能の有効 / 無効設定	wlan {2.4g 5g 6g} {disable enable}	100
高速ローミングの有効 / 無効設定	wlan {2.4g 5g 6g} fast_roaming	101
無線送信フレーム設定	wlan {2.4g 5g 6g} fragmentthreshold	102
ガードインターバルの設定	wlan {2.4g 5g 6g} gi	103
キープアライブ設定	wlan {2.4g 5g 6g} keepalive	104
マルチキャストレート設定	wlan {2.4g 5g 6g} mrate	105
RTS しきい値設定	wlan {2.4g 5g 6g} rtsthreshold	106
無線 LAN 追加認証設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid addsecurity	107
SSID ブロードキャストの有効 / 無効設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid broadcastssid	109
有効 SSID 設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid create	110
最大接続台数設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid loadbalance	111
SSID プライバシー設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid privacy	113
SSID 名称変更	wlan {2.4g 5g 6g} ssid rename	115
無線 LAN セキュリティ設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid security	116
無線 LAN VLAN ID 設定	wlan {2.4g 5g 6g} ssid vlan	118
無線 LAN 送信出力設定	wlan {2.4g 5g 6g} txpower	119
UAPSD (不定期自動節電機能) の設定	wlan {2.4g 5g 6g} uapsd	120
WDS の認証方式の設定	wlan {2.4g 5g 6g } wds authentication_method	121
ワイヤレスマルチキャストスヌーピングの設定	wlan {2.4g 5g 6g} wireless_multicast_snooping	122
MAC アドレス追加設定	wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds add	123
WDS 設定削除	wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds delete	124
WDS モード設定	wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds mode	126
WDS VLAN 設定	wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds vlan_mode	127
WDS 機能の有効 / 無効設定	wlan {2.4g 5g 6g mlo} wds functionality	129

実行内容	コマンド	ページ
MLO の追加認証方式の設定	wlan mlo addsecurity	130
MLO 機能の有効 / 無効設定	wlan mlo {disable enable}	132
MLO のロードバランシング値の設定	wlan mlo load_balancing	135
MLO の SSID 設定	wlan mlo ssid	136
MLO のワイヤレスクライアントア インレーションの設定	wlan mlo wireless_client_isolation	139
2.4GHz ContentionSlot 設定	wlan 2.4g conslot	142
2.4GHz Preamble Type 設定	wlan 2.4g preamble	143
ビームフォーミング設定	wlan {5g 6g} beamforming	148
災害モードの有効 / 無効設定	wlan emergency_mode {disable enable}	149
ゲストネットワーク管理者登録の追加	wlan guest_network admin_mac	150
ゲストネットワーク接続可能時間設定	wlan guest_network connectable_time	153
ゲストネットワーク有効 / 無効設定	wlan guest_network {disable enable}	154
ゲストネットワーク AP 名設定	wlan guest_network guest_ap_name	155
ゲストネットワーク無線設定	wlan guest_network wlan	158
MAC アドレスフィルタリスト表示	wlan maclist show status	163
WMM パラメーター設定	wlan wmm {ap sta}	166
QoS 機能設定	wlan wmm qos	168
WMM パラメーター設定情報表示	wlan wmm show status	169
WPS の PIN コード生成	wlan wps create pincode	170
WPS 機能 有効 / 無効設定	wlan wps {disable enable}	171
WPS 設定解除	wlan wps release	172
無線子機 PIN コード設定	wlan wps start enrollee pincode	174
WPS 接続を開始します	wlan wps start push_button	175

● RADIUS コマンド

実行内容	コマンド	ページ
RADIUS サーバー IP アドレス設定	radius {2.4g 5g 6g mlo} {primary secondary} enable server	176
無線機器とのセッション時間設定	radius {2.4g 5g 6g mlo} {primary secondary} session_time	178
RADIUS サーバー設定情報表示	radius show status	179

● EXIT コマンド

実行内容	コマンド	ページ
コマンドラインインターフェースを終了	exit	180

● QUIT コマンド

実行内容	コマンド	ページ
コマンドラインインターフェースを終了	quit	181



無線アクセスポイント

WAB-BE187-M/WAB-BE72-M/WAB-BE36-M コンソールマニュアル

発行 エレコム株式会社